なるかわ園地トイレリフレッシュ工事

建築図面		設備図面	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A－1	表紙，図面リスト	E－1	電気設備工事・特記仕様書
2	特記仕様書	2	電気設備工事・配置図
3	指定材料表	3	電気設備工事・凡例，分電盤結線図
4	附近見取図	4	電気設備工事・便所平面図
5	外部仕上表，内部仕上表，面積表		
6	配置図，平面図，屋根伏図		
7	立面図，断面図		
8	断面詳細図	M－1	衛生設備工事・特記仕様書（1）
9	平面詳細図	2	衛生設備工事・特記仕様書（2）
10	展開図（1）	3	衛生設備工事・配置図
11	展開図（2）	4	衛生設備工事・便所平面詳細図
12	天井伏図	5	衛生設備工事・浸透会所ます詳細図
13	建具表	6	簡易水洗設備工事・配管平面図
14	部分詳細図（1）	7	簡易水洗設備工事・便所断面図
15	部分詳細図（2）	8	簡易水洗設備工事・電気結線図
16	部分詳細図（3）		
17	構造図（1）		
18	構造図（2）		
19	外構図		
20	既設建物撤去図		

竣工図

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者 林　担当

財団法人　大阪府建設監理協会

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	—	平成　年　月　日	A－1
図面名称：表紙，図面リスト　縮尺	整理番号 — —		

工事名称：なるかわ園地トイレリフレッシュ工事

工事場所	東大阪市上鴻池町地内
工事概要	敷地面積：　㎡　建ぺい率計画値：・無　・有
	建築物名称：便所
	構造：木造
	建築面積：17.76 ㎡
	床面積：1階 48.03 ㎡
	階 ㎡
	階 ㎡
	階 ㎡
	階 ㎡
	階 ㎡
	延床面積：48.03 ㎡
	既設部分（構造・階数：　　）
	増築面積：　　延床面積：　　）
工事概要	1. 便所本体工事　1式
	2. 電気設備工事　〃
	3. 機械設備工事　〃
	4. 敷地造成工事　〃
別途工事	
用途地域	・商　・近隣商業地域　・住居地域　・近隣住居地域　・商業地域
	・準工業地域　・工業地域　・工業専用地域　⊙指定なし　・臨高度地区
防火地域	・防火地域　・準防火地域　⊙指定なし　・第22条指定区域外
その他	⊙宅地　・砂防　・風致　・都市公園　・土地区画整理
	・河川保全　・市街化　⊙市街化調整　⊙埋蔵文化財包蔵地
	⊙古墳公園
設計図書	図面 J2 式（本特記仕様書を含む）、建設大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書
	平成5年度版、建築工事補足共通仕様書、現場説明書、本年度指定材料表

第1章 一般共通事項

- ■ 本特記仕様書の適用方法：項目又は記事欄中に○印を付けたものを適用する。●印の付いた項目、記事等は、特記の無い場合に適用する。
- ■ 設計図書の優先順位：(1)現場説明書　(2)特記仕様書　(3)仕上表　(4)図面　(5)指定材料表　(6)建築工事補足共通仕様書　(7)共通仕様書
- ■ 材料指定：材料の種名、製造所、施工業者などは、特記されたもの及び「指定材料表」によるほか、監督員が同等以上と認めたものを、使用すること。
- ■ 工法の記載のない材料：特記仕様書、補足共通仕様書及び共通仕様書に工法が記載されていない材料は、製造所、施工業者等の標準仕様により施工すること。
- ■ 防火材料等：法定防火材料及び法定耐火材料、耐火構造、その他の指定のあるものは、その認定ラベル、認定番号等を示し監督員の承諾を受けること。
- ■ 工事に伴なう諸手続：建築法、電気、その他の工事用設備の設置、撤去の手続、及び道路交通法、災害及び公害防止関法その他工事に伴なう諸手続は、請負業者が行なうこと。
- ■ 既設部分との取合い：既設建物と今回工事との取合い部分その他で、斫り、及び工事の仕舞などにより破損、障害をさせた個所は、今回仕上及び旧仕上同材によって完全に補修しなければならない。取合い部分以外でも今回工事による障害と認められた時も同様とする。
- ■ 道路・隣地の確認：隣地及び道路との境界は工事着手と同時にこれを確認し、境界杭の埋没、紛失のおそれある個所は支障に備え並びに保存を行う。なお、位置不明の場合は監督員、関係所有者及び関係官公署員立会の下に定める。
- ■ 材料検査に伴う試験：試験の基準は、日本工業規格(JIS)、日本標準規格(JES)、日本農林規格(JAS)、日本建築学会標準仕様書(JASS)とし、これらの規格の制定のないものについては、本仕様書の該当各項目又は監督員の指示による。
- ■ 引渡及び瑕疵責任：完成検査に合格したときは書類を添えて引渡し、工事完了後引渡しまで請負者に於て管理上の責任を負う。なお引渡時の状況により引渡き補修管理を求めることがある。
- ■ 別契約工事に対する協力義務：直接全体工事請負者等は別契約請負者に対して、仮設設備用地の提供、工事進入道路、並びに足場等、工事内入壁エレベーターなどの使用について協力すること。
- ■ 有害発生材の処置：有害発生材は特記なき限り、撤去工事費から、有害発生材の見積価格を控除する方式によって請負者が引取ること。
- ■ 解体品の処分：解体材の処分は、関係法令を遵守し請負者の責任において、場外処分とすること。又監督員が指示する場合は処分地への搬入日時、処分時の写真等を報告書にまとめて提出すること。
- ■ 検査士：●適用しない　・適用(適用工事種別　　)
- ■ 既存工事等との取合い：

		撤去工事	既存工事等(△印は個所)
1.開口部補強(設備機器、管、ダクト等)	a 鉄筋コンクリート造部分については鉄筋補強	イ. スリーブ、埋入れ等の材料及び取付け	
	b 木造、補強下地部分については、下地材取付補強、及びに内装材(天井、壁、床等)の撤去の切込み	ロ. ダクト、配管取付金の開口部周の充填	
2.電気工事関係	a 撤去器具	イ. 撤去器具等及び取付け	
	b 電動シャッター式	ロ. エレベーター三方枠	
	c エンジンドアー式	ハ. 左記の電源移設	
3.給排水衛生工事関係	a 洗面	イ. 便器、洗面、流面台の撤去	
	b マット排水	水	
	c 図面に特記した カガミ	ロ. 一般用の流用用カガミ	
4.点検口	点、天井の点検口		
5.排気フード	排気フードの化粧張り	排気フードの撤去及び取付	
6.屋上設置設備	屋仕舞(防水)		
7.荷重条件緩和	壁、電線通路配管用の切込、補強	電線加熱温度調整	
	防火壁		
8.カーテンボックス等	カーテンボックス、カーテンレール等	△カーテン、△ブラインド	
		△暗幕	

- ■ 火災保険等：⊙要(設計工事保険等)　・要(火災保険)　・不要

第2章 仮設工事

- ⊙ 仮囲い：・シート張　・板囲い(H：1.8m)　・亜鉛鉄板囲い(H≒2.0m)　・鋼製波板囲い(H≒3.5m)　⊙ガードフェンス(安全対策)
- 災害防止シート：・養生シート　・養生金網　・網張
- ⊙ 監督員事務所：⊙不要　・不要(但し、請負者専用の共用責任を負う)　・1号・2号　・3号　・4号　・5号　個人：・要　・不要
- ■ 工事用接続等：給排水、電気、その他の工事用設備の設置、撤去は監負事務が行なうこと。

第3章 土工事

- ⊙ 3.2.3 造成及び盛土：・A種　●B種
- ⊙ 3.2.5 残土処分：●場外処分　⊙敷地内整地処理
- 3.3.1 山止め

第4章 地業工事

- 地盤の種別：・プレストコンクリート杭(PC杭)　・高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)　・鋼管杭　・H型鋼杭　・場所打コンクリート杭　・直接基礎　・岩石コンクリート基礎
- 杭の施工法：・転打　・オーガー　・オーガー(ペントナイト併用)　・セメントミルク工法　・リバースサーキュレーション工法　・ベノト工法　・アースドリル工法　・深礎工法
- 杭の種類、寸法等：

種類	等級	径	長さ l1+l2+……l6	先端形状	長期耐力	オーガー深度	本数	備考
		%	m		t/本	m		

- 4.1.1(g)鉄筋防止処置
- ■ 杭頭処理：杭の鉄筋防止処置及び高止まり杭の切取りは杭工事に含む。
- 4.4.3 場所打コンクリート杭：・設計基準強度 Fc=　kg/cm²　・スランプ18cm
- 4.5.4 杭の載荷試験：●杭の鉛直　・水平載荷
- 杭の製造所：⊙砂石地業
- 直接基礎の許容地耐力：1/㎠(長期)　・平板載荷試験(　ヶ所)

第5章 鉄筋工事

- ⊙ 5.1.1 異形鉄筋：●A種 ⊙SD295A　・　)・B種
- 5.1.2 丸鋼：●A種　・B種
- ⊙ 5.2.1(c)継手：●重ね継手　・ガス圧接継手(適用ヵ所：　　)
- スパイラルフープの使用
- ■ 5.3.4 圧接完了後の検査：・引張試験　・超音波探傷試験

第6章 コンクリート工事

- ⊙ 6.1.1(i)コンクリートの種類：●普通コンクリート(・砂利　●砕石)　・軽量コンクリート(●1種　)
- ⊙ 6.1.2 設計基準強度：⊙設計基準強度Fc= 210 kg/㎠　⊙但し上間コンクリートはFc= 180 kg/㎠　・　kg/㎠　・特殊コンクリートFc=　kg/㎠(気乾比重：　)
- ⊙ 6.1.3 レディーミクスト：⊙レディーミクストコンクリート　●I種　・II種
- ⊙ 6.2.4 混和材料：●AE剤又はAE減水剤標準形の I種　・
- ⊙ 6.3.2 所要スランプ：⊙原値、施中間(●15cm　・18cm)　・柱梁床壁類(●18cm　・　)
- 6.9.1 無筋コンクリート：●6.9.1表の適用個所に応じたもの(スランプ　・15　・18)
- 6.11.1 水密コンクリート
- ⊙ 6.13.1 鉄筋の継手(普通鉄筋)：●金継(厚12%)　・合継(厚15%の規格品)
- ⊙ 6.13.1 コンクリート打放し仕上げの鉄筋：⊙6.13.2表による　・強熱合継(・アクリル樹脂系　・ウレタン系　・　)
- ⊙ 6.13.13 コンクリートの打ち放し仕上げ：・A種　・B種　⊙C種
- ■ 骨材の塩分含有量：塩分が0.04%をこえる細骨材を使用してはならない。
- ⊙ アルカリ骨材対策：⊙アルカリ骨材反応性試験により安全と認められた骨材を使用する。(試験方法は JISA5308附属書7又は8による)　・GBRC促進法による試験　・硬骨材　・中　・軟骨材　・中　詳細は監督員の指示による。
- コンクリート中の塩化物：・塩化物量の限度 0.3kg/㎥以下とする。(塩化物量の測定) 塩化物量の試験は50㎥ごとまたはその端数につき1回以上とする。なお最初の試験は打ち込み当初行うものとする。(1回の試験に必要な測定数は同一受け入れ塩化物測定器を用いて行うこととする。

第7章 鉄骨工事

- 7.2.1 鋼材：材質：
- 7.10.2：規格：・JIS規格品　●7.2.7(b)に合格するもの　・軽量形鋼(SSC41)
- 7.2.2~5 接合材：・高力ボルト(・JISの高力ボルト　・特殊高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト)　・溶接　・普通ボルト　・アンカーボルト
- 7.2.8 ターンバックル：●JIS5540
- 7.3.8 仮組立て
- ■ 溶接検査：●7.5.9a(1)~(h)による　・
- 鉄骨加工業者：鉄骨製作示第1103号による
- 7.7.1 耐火被覆：・ラス張モルタル　・耐火材吹きつけ　・耐火板張(製造所等：　　)

第8章 ブロック及びALCパネル工事

- ⊙ 8.1.2 ブロックの種類：・補強コンクリートブロック造　材料：JISA5406の規格品とする　種別：(●C種普通ブロック・　　)
- 8.2.2：⊙鉄筋及び線　材料：JISA5408、5407及び5408　種別：(●8.2.1表による)
- 8.5.2 ALCパネルの種類：●JISA5416規格品(　　)・
- 8.5.4 ALC目地のシーリング材：●9.4.1表E種　・

第9章 防水工事

- 9.1. アスファルト防水：歩行用屋根：保護防水密着工法・A-1・A-2　保護防水絶縁工法・B-1 ●B-2　保護防水断熱工法・A1-1・A1-2　非歩行用屋根：露出防水密着工法・C-1・C-2　露出防水絶縁工法・D-1 ●D-2
- 地下貯水槽：●E-1・E-2　浴室、便所、洗面所：E-1 ●E-2　施工業者：指定材料表による
- 9.1.5 防水押さえコンクリート：●軽量コンクリート　・発泡コンクリート
- 9.2. 合成高分子ルーフィング防水(シート防水)：材料：・JISA6008・JISA6009　種類：　厚さ：・0.8mm　・1.0　・1.2　・1.5　・2.0　・　製造所等：
- ⊙ 9.3. 塗膜防水：材料：●JISA6021の規格品　・ウレタンゴム系(・X-1　・X-2　・X-3)　・ゴムアスファルト系(・Y-1　・Y-2　・Y-3)　製造所等：日本セメント防水(株)製造所 GA-20 厚さ2mm以上
- 9.4. モルタル防水：指定材料表による
- ⊙ 9.4. シーリング：種別・材種・使用区分　(丸型、水切目地)
- ●指定性試験　●行う(●簡易指定性試験　・引張指定性試験)　・行わない
- ■ 貯水試験：●防火水槽　●受水槽

第10章 石工事

- 花崗岩、大理石、その他天然石張り：材料：・花崗岩(　　程度)　・大理石(・国産品　・　　程度)・外国産(・並級　・中級　・上級))
- ⊙ 御影石ブロック：仕上：　種類：花崗岩　名称：御影石 は、関係による　産地：　　産地名：　製造所：吉野建材工業(株)　施工所：吉野建材工業(株)
- 10.8 テラゾータイル張り

第11章 タイル工事

- ⊙ 11.1.1(a) 材料：●JISA5209規格品
- 11.2.3：形状、寸法：内装壁用タイル 200×200 100×100　腰：〃　〃 100×50
- ⊙ 11.1.1(b) 目地の使用：INAX コーキングモルタル種類
- 11.2.3(d)
- ■ 11.1.3 特殊目地：位置：●11.1.3a)2)による　・図示による
- 11.2 タイルの先付け：種別：

第12章 木工事

- ⊙ 12.1.2(c) 桐：種類：●特記なし　⊙特記樹種：関系による。
- ■ 12.1.2(c) 代用樹種の使用：●認止しない　・一部認止する：
- ⊙ 木製ネットフェンス：ポリ木材使用　ハイ2m　同等品以上
- ⊙ 12.1.12 防腐防虫処理：●クレオソート(●2種類　・2時間浸漬　・加圧法)
- 12.1.13
- 12.1.14
- ⊙ 和室内装制3間：表面材オオバ2重(板)　ポリウレタンルーフ　同等品以上

第13章 屋根及びとい工事

- ⊙ 鉄部塗装(セメント系)：屋根ふき形式：関系による。　製造所：(株)クボタ　カラーペストコロニアル　オスト電工(株)　フルベスト20　同等品以上
- 13.2 折板葺：種類：　厚さ：
- ⊙ 13.4 とい：材質：鋼管(白管)　・硬質塩ビ管(VP)　⊙硬質塩ビ間樋(カラー)
- ⊙ 野天樋：新日鉄住金建材(株)　ラ。キ

第14章 金属工事

- 鉄鋼品の防錆処理(外部)：●防錆塗料(●17.3.1表A種　・B種)　・
- 鉄鋼品の防錆処理(内部)：●防錆塗料(・17.3.1表A種　●B種)　・
- ⊙ 14.2.1 ステンレス材：品質：●SUS304　・SUS430　表面仕上：●ヘヤーライン仕上　・
- ⊙ 14.2.2 アルミの表面処理：・A-1　・A-2　・B-1　・B-2　・C-1　・C-2　・D　⊙ジュラクロン塗装
- ⊙ 14.2.3 鉄の亜鉛めっき：・A種(・A種　●B種)⊙C溶融　・B種(・A種　・B種　●C種)
- 14.4 軽量鉄骨天井下地：●19形(屋内)　25形(屋外)　・
- ■ 14.5 軽量鉄骨壁下地：●65形　90形　100形　・
- ■ 14.6.2 タラップ：●19φ丸鋼(●溶融亜鉛めっきB種、OP塗　・　　)　・図示による

第15章 左官工事

- ■ 15.3.5 防水モルタル：製造所：指定材料表による
- ⊙ 15.6.1 薄付仕上塗材：種類：　仕上：
- 厚付仕上塗材：種類：　仕上：
- 複層仕上塗材：種類：　仕上：
- 15.7.1 軽量骨材吹きつけ材：●JISA6917(種類　　)　吹き付：厚さ：●5mm　・　製造所等：
- 15.7.2 ロックウール吹きつけ材：色：・着色　・原色　厚さ：　製造所：
- ⊙ メタルラス：⊙JISA5505平ラス　・
- ワイヤーラス：・JISA5504ヒシ　・

第16章 建具工事

- 外部サッシの性能：・実試験書　●試験不要

使用区分	●					
耐風圧 kg/㎡						
気密性 ㎥/hr·㎡	8					
水密性 kg/㎡	35					

- 16.2.1 アルミニューム製建具：種別：・A類(オーダー)　●B類(既製)　・KJ　・BL　表面処理：・A-1　・A-2　●B-1　・B-2　・C-1　・C-2　・D　・着色A種(金茶色)　・無付　枠の見込寸(建具厚を視先する)：●70%又は80%　・100%　・　製造所：
- ⊙ 16.2.4 シーリング材：●9.4.1表C種(ポリサルファイド系) 10%×7%以上　・B種
- 16.3 鋼製建具：種別：・オーダー　・既製　・BL　鋼板の材料：●亜鉛めっき鋼板　・同左又は、ボンデ処理鉄板　製造所：
- ・BL部品建具：製造所：
- 16.4 鋼製軽量建具：製造所：
- 16.5 ステンレス製建具：製造所：
- 16.6 自動とびら：製造所：
- 16.7 シャッター：種類及び形式：・鋼製巻込シャッター(・普通型　・防火シャッター　・防煙シャッター)　・軽量シャッター
- 16.8：開閉機械：・上部電動式(手動併用)　・手動式　・上部手動式　シャッターケース：・不要　●要　・　製造所：
- ⊙ トップライト：材料：アルミ製、ジュラクロン塗装付　製造所：日本ケミカルハウス(株)
- ⊙ 16.11.1 ガラス窓付材：・パテ　⊙シーリング(・C種　・　)　・ガスケット
- 16.11.1(b)3 乙種防火戸等の調入ガラス窓付材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けたものとする。

第17章 塗装工事

- ⊙ 17.1.1 材料：●JIS規格品
- 17.3.1 鉄面防錆塗料：種別：●17.3.1表錆質に応じたもの　・

第18章 内装工事

- 18.1 ビニール床シート等：材質、厚さ：●ビニール床シート(JISA5707)、無地、厚2.5mm
- 18.2 ビニル床タイル、ゴムタイル等：材質、厚さ：●半硬質ノンアスベスト床タイル(JISA5705)厚2.0mm
- 18.3.2 合成樹脂塗り床：弾性ウレタン塗：仕上：●平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上　製造所等：　エポキシ樹脂塗り床：仕上：・骨材流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ　・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上　製造所等：
- ⊙ 18.4 金属類：種類：・普通合板(II類)　・耐水合板(I類)　・難燃合板　⊙特殊合板(ポリJA)　内外装ラスカット　同等品以上
- 18.4 セッコウボード類：種類：・一般品JISA6901(・厚9%強不燃　・厚12%不燃)　・特殊品　目地：・割目処理工法　・突付け　・底目地
- 無石綿けい酸カルシウム板：JISA5418に準拠したノンアスベストのものとする。
- 吸音材料：材料：・ロックウール系(岩綿吸音板)　・グラスウール系
- 18.5 フローリングボード、特殊甲板等：板種等：・なら厚19%　・ぶな厚15%　・複層甲板厚15%(・上小節　・1等)　・
- 塗装：・ウレタン樹脂ワニス塗　・OS、WX　・生地のままWX塗
- 18.5 複合フローリング：種別：・突板木化粧複合フローリングA種　・同B種　・同C種(下張り・有　・無)　表面板種、規格寸法等：　製造所等：
- 18.5 フローリングブロック：板種等：・樺、カバ厚15%　●なら厚15%　・ぶな厚15%　塗装：・ウレタン樹脂ワニス塗　・OS、WX　・生地のままWX塗
- 18.6 壁紙張り：材質、防火処理および製造所等
- 18.7 畳敷き：種別：・A種　●B種　・C種　・瓦敷用
- 18.8 じゅうたん敷き：品質：・ウィルトン　・タフテッド　・ニードルパンチ　製造所等：　下敷き材：・無　●青黒フェルト厚8%
- 18.9 断熱材：種類：　厚さ：　使用場所：
- ・土間下防湿シート：材料：・ポリエチレンフィルム厚0.15%　使用場所：

第19章 舗装工事

- 19.2 路床：・在来土質調　・在来土質圧　・盛土　支持力比試験：●行わない　・行う(　　箇所)　締固め度試験：●行わない　・行う(　　箇所)
- 19.3 路盤：締固め度試験：●行わない　・行う
- 19.5.1 コンクリート舗装：FC=　kg/cm

第20章 排水工事

- ⊙ 20.1 排水管：・ヒューム管(HP)　⊙硬質塩ビ管(VP)　・鋳管(白管)
- ⊙ 20.1 排水会所：材料：●現場打コンクリート製(　　)　・市場品　⊙図示による
- フタの材料：●鉄筋コンクリート製　・しま鋼板製　・グレーチング　⊙図示による
- ⊙ 20.1 排水溝：材料：現場打コンクリート製　⊙JISA5305U字溝　・JISA5306鉄筋コンクリートL型　・
- 20.1 排水溝のフタ：材料：・JISA5334U形フタ　・グレーチング

第21章 植栽工事

- 21.1.1 植え込み用土：●現場発生土の良質土　・客土

第22章 雑工事

- 22.1.2 階段すべり止め(ノンスリップ)：・真鍮　・ステンレス　・アルミ　工法：・接着工法　・埋込工法　・踏幅寸法　%
- 22.1.4 鼻板(踏板)：種類：●鋳付鼻板(JISS6045)　・研ぎ出し鼻板(JISS6007)規格品　・
- 22.2 カーテンレール：種別：・ステンレス製　●アルミ製　・図示による
- ⊙ 室名札(ピクトサイン)：形式：⊙定額付　・片持出型　・　材質：アクリル製標識　⊙アルミ製(白色塗装)　明光　製造所等：二葉工業(株)　同等品以上
- 建物表示板：●表側銅ブロンズめっき250%・180%
- 床下換気孔：・鋳鉄製440%×180%×9%程度　OP仕上　・図示による
- 天井点検口：・硬質塩ビエルボパイプφ50%、防虫網付　・図示による
- ⊙ 22.5.1 砂利敷：種別：●通路A種、建物周囲その他B種　・A種　⊙B種
- 22.6 石積み縁敷：種別：・間知石積　・割石積　・玉石積　・玉石敷　材種：・花崗岩　・JISA5003の硬石　・
- 22.6 コンクリート間知ブロック積：・A種　・B種　・C種
- コンクリート縁敷：・鉄筋コンクリート造(Fc=　kg/㎠)　・無筋コンクリート造(・Fc=　kg/㎠　・容積比1：3：6)
- フェンス、外柵：材種、形状：●既製品　・図示による　製造所等：　基礎：・布基礎(巾120%×根入450%以上　)　・既製特定基礎　・図示による
- 遊具施設：種別：・既製品　・現場製作　製造所：
- ⊙ トイレコーナーシステム棚：製造所：信越コンシェル(株) MA民型　同等品以上
- ・メラミンポストフォーム　関系による
- 手洗台：製造所：信越コンシェル(株)　同等品以上
- カウンター
- フィッティングテーブル

訂正	平成　年　月　日
・	・
・	・

連絡

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代理者　所長　課長

大阪府建設監理協会

工事名称：なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号：—	設計年月日：平成　年　月　日	図面番号：A-2
図面名称：特記仕様書　縮尺：	管理番号：—		

(平成2年 改訂)

指　定　材　料　表

1．既製コンクリートくい

・RCくい ・PCくい ・PHCくい（高強度プレストレストコンクリート(h)）	JIS A 5310（遠心力鉄筋コンクリートくい）の規格品で特記がない場合は1種とする。 JIS A 5335（プレテンション方式遠心力プレストレストコンクリートくい）の規格品で特記がない場合はA種とする。 建築基準法に基づき認定されたもの及びJIS A 5337（プレテンション方式遠心力高強度プレストレストコンクリートくい）の規格品。

2．鋼管ぐい等

・鋼管ぐい ・H形鋼ぐい	JIS A 5525（鋼管ぐい）による製品。 JIS A 5526（H形鋼ぐい）による製品。

3．鉄筋

・異形鉄筋	JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格品。又はJIS G 3117（鉄筋コンクリート用再生棒鋼）の規格品で特記がない場合はA類とする。
・丸鋼（A類）	JIS G 3112のSR235の規格品。又はJIS G 3117のSRR235の規格品。
・丸鋼（B類）	共通仕様書5．1．4（b）に定める試験の結果が，下記のいずれかの規格に合格するもの。 JIS G 3112のSR235 JIS G 3117のSRR235
・溶接金網	JIS G 3551（溶接金網）の規格品。

4．ガス圧接

・圧接工	圧接工は，工事に相応したJIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有し，技量証明書を監督員に提示して承諾を受けた者とする。

5．レデーミクストコンクリート

・1級	JIS A 5308（レデーミクストコンクリート）のJIS表示許可工場で製造されたコンクリート。

6．セメント

	セメントは，下記により，特記がなければ普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種のいずれかとする。 JIS R 5210（ポルトランドセメント） JIS R 5211（高炉セメント） JIS R 5212（シリカセメント） JIS R 5213（フライアッシュセメント）

7．砕石

	JIS A 5005（コンクリート用砕石）による。ただし，種類は，特記による。特記がなければAとする。

8．人工軽量骨材　（あいうえお　順）

	軽量骨材は，「人工軽量骨材を用いる軽量コンクリートの使用基準について」（昭和48年11月2日住指発第769号）に基づき認定されたものとし，共通仕様書8．1．2表の試験に合格するもの。 JIS A 5002（構造用軽量コンクリート骨材）による。 ・アサノライト ―→ 日本セメント㈱ ・宇部軽骨 ―→ 宇部興産㈱ ・エフエイライト ―→ 九州電力㈱ ・セイライト ―→ 三菱鉱業セメント㈱……（東京） ・ニチライト ―→ 日本軽量骨材㈱ ・ビルトン ―→ 住友金属鉱山㈱……（東京） ・メサライト ―→ 日本メサライト工業㈱ ・ライオナイト ―→ 大阪セメント㈱

9．混和材料　（あいうえお　順）

・AE剤	・山宗化学㈱　・シェルコン㈱　・デンカグレース㈱
・AE減水剤	・花王　㈱　・神戸材料㈱　・山宗化学㈱　・サンフロー㈱ ・シェルコン㈱　・竹本油脂㈱　・デンカグレース㈱ ・日本シーカ㈱　・藤沢薬品工業㈱　・㈱ポゾリス物産

10．鋼材

	JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） JIS G 3106（溶接構造用圧延鋼材） JIS G 3114（溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材） JIS G 3444（一般構造用炭素鋼鋼管） JIS G 3466（一般構造用角形鋼管） JIS G 3352（デッキプレート）

11　高力ボルト

・JISの高力ボルト ・特殊高力ボルト	JIS B 1186（摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット）の規格品。 建築基準法に基づき認定されたもの。

12．普通ボルト

・六角ボルト ・六角ナット ・座金	ボルト及びナットはJIS B 0205（メートル並目ねじ）とし，下記による規格品とし，はめあい区分は中とする。 JIS B 1180（六角ボルト）による中3級の規格品。 JIS B 1181（六角ナット）による中3級の規格品。 JIS B 1256（平座金）のみがき丸の規格品。

13．軽量形鋼

	JIS G 3350（一般構造用軽量形鋼）のSSC400の規格品。

14．コンクリートブロック

	JIS A 5406（空胴コンクリートブロック）による規格品。

15．ALCパネル

	JIS A 5416（オートクレーブ養生した軽量気泡コンクリート製品）のパネルの規格品。

16．アスファルト防水（材料）

・アスファルト	JIS K 2207（石油アスファルト）防水工事用アスファルトの規格品で，特記がなければ3種とする。
・アスファルトルーフィング	JIS A 6006（アスファルトルーフィング）による。
・砂付ストレッチルーフィング ・網状アスファルトルーフィング ・穴あきアスファルトルーフィング ・ストレッチルーフィング	JIS A 6022（ストレッチルーフィング）の規格品とし，その種類は，砂付ストレッチルーフィングとする。 JIS A 6012（網状アスファルトルーフィング）による合成繊維ルーフィングとする。 JIS A 6023（あなあきアスファルトルーフィング）の規格品とし，その種類は2種とする。 JIS A 6022（ストレッチルーフィング）の規格品とし，その種類は2類とする。
・断熱材	JIS A 9511（ポリスチレンフォーム保温材）の規格品。
・保護材	JIS A 6005（アスファルトフェルト）による。

17．アスファルト防水（施工業者）（あいうえお　順）

	・近畿防水事業協同組合　・ゴムアスファルト防水工事業協同組合 ・全日アスファルト防水事業協同組合　・東亜アスファルト防水事業協同組合　・東興アスファルト工業株式会社　・東西アスファルト事業協同組合　・日本アスファルト防水工業協同組合

18．合成高分子ルーフィング防水

・ルーフィング	JIS A 6008（合成高分子ルーフィング）及びJIS A 6009（塩布その他を被覆した合成高分子ルーフィング）の規格品。

19．塗膜防水

・主材料	JIS A 6021（屋根防水用塗膜材）の規格品とし，種類は，ウレタンゴム系1類及びゴムアスファルトとする。

20．モルタル防水

	西日本建設防水協同組合加盟業者の責任施工。

21．シーリング・コーキング

・油性コーキング ・シーリング	JIS A 5751（建築用油性コーキング材）の規格品。 JIS A 5758（建築用シーリング材）の規格品。

22．防水モルタル　（あいうえお　順）

・防水剤	・ウォータイト　・ゲルカ　・シーカ　・シンケン ・マノール　・盤上　・ユニロン　・ロータス

23．アルミ製建具

・Aランク	日本サッシ協会関西支部会員のうちJIS規格認定工場，又は関西に営業所のあるJIS規格認定工場。 但しJIS規格については耐風圧200，気密性8，水密性35，以上の許可をとっていること。
・Bランク	Aランク以外の日本サッシ協会関西支部会員

24．鋼製建具（ドアーを含む）

・全ての工事	日本サッシ協会関西支部会員，又はJIS規格認定工場のうちで関西に営業所のあるメーカー。

※．ただし，大規模，又は特殊なものについてはメーカー指定を特記出来るものとする。

注：関西の区域

大阪府，京都府，兵庫県，滋賀県，奈良県，和歌山県

日本サッシ協会関西支部　☎06-632-5421

25．シャッター製造所　（あいうえお　順）

	・小俣シャッター工業㈱　・三和シャッター工業㈱ ・鈴木シャッター工業㈱　・東工シャッター㈱ ・東洋シャッター㈱　・文化シャッター㈱　・大和シャッター㈱

訂正	平成　年　月　日	摘要
	・　・	
	・　・	
	・　・	

事　業　名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

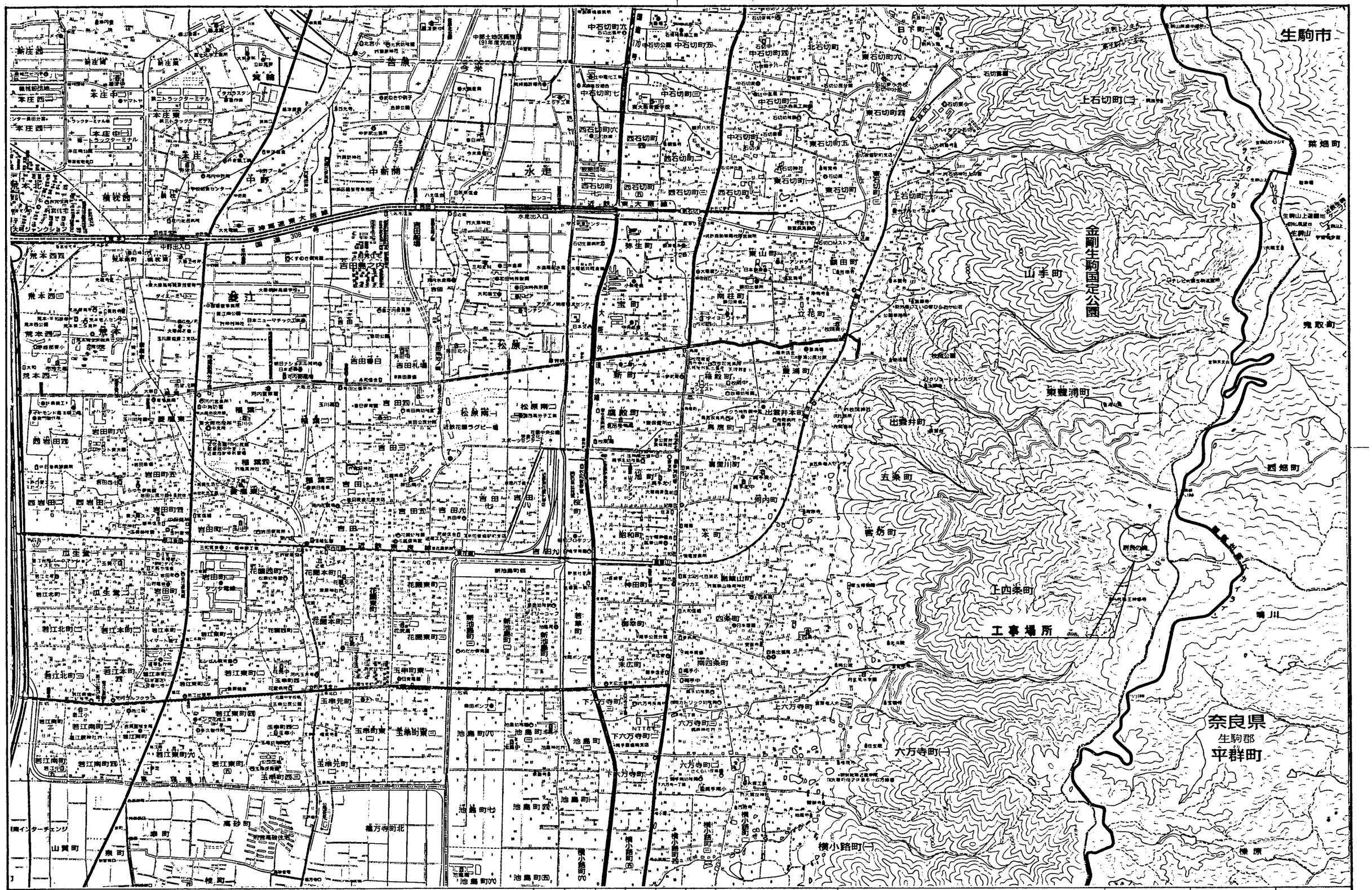
代理者　松井　主任者

大阪府建設監理協会

工事名称	なるかわ小学校トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成　年　月　日
図面名称	指定材料表	縮尺	図面番号 — —

図面番号 A－3

（平成4年度改訂）



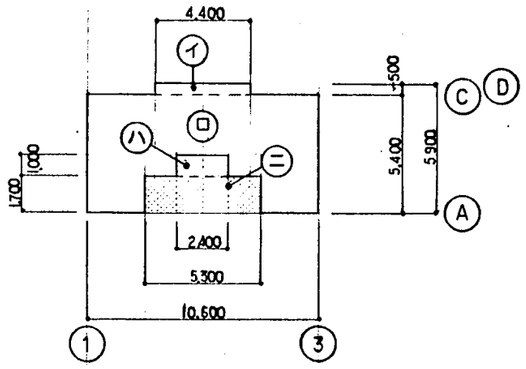
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ墓地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A－4
				図面名称 **附近見取図** 縮尺 1:25,000	管理番号 — —		

外部仕上表

場所	仕上
屋根	ゴムアスファルト系ルーフィング貼りの上 彩色石線ビニシート板葺
外壁	時弾合板㎜7.5の上モルタル塗アクリルリミン吹付
腰	耐水合板㎜4.0 アスファルトルーフィング22kg貼りの上 杉板貼り 24×125 (本実目透し)，下部モルタル刷毛引き仕上げ．
軒天	野地板(杉板 24×305 本実貼り)，化粧垂木
樋	竪樋：カラー塩ビ製75㎜，軒樋 耐蝕被覆鋼板t0.4，塩ビ製ドレイン
アプローチ	木製デッキ ：レッドシーダー 40×143 目透し貼り
	敷 部 ：凝石 ブロック 200×305 (小叩き仕上)
	木製ベンチ ：檜 2ヶ所
	出入口床見切 ：緑石 ブロック 120×180 (小叩き仕上)
	汲み取りスペース：モルタル金ごて押え，砂泉防水マンホール 350㎜錠付(マンホールのみ設備工事)
備考	ピクトグラフ ：アルミ製 シルク印刷 3色使い，一般用2ヶ所 多目的便所用4ヶ所(国補助，監督員の指示により，係員承認を得ること)
	トップライト ：アルミ製(ジュラクロン焼付)

面積表

1:200



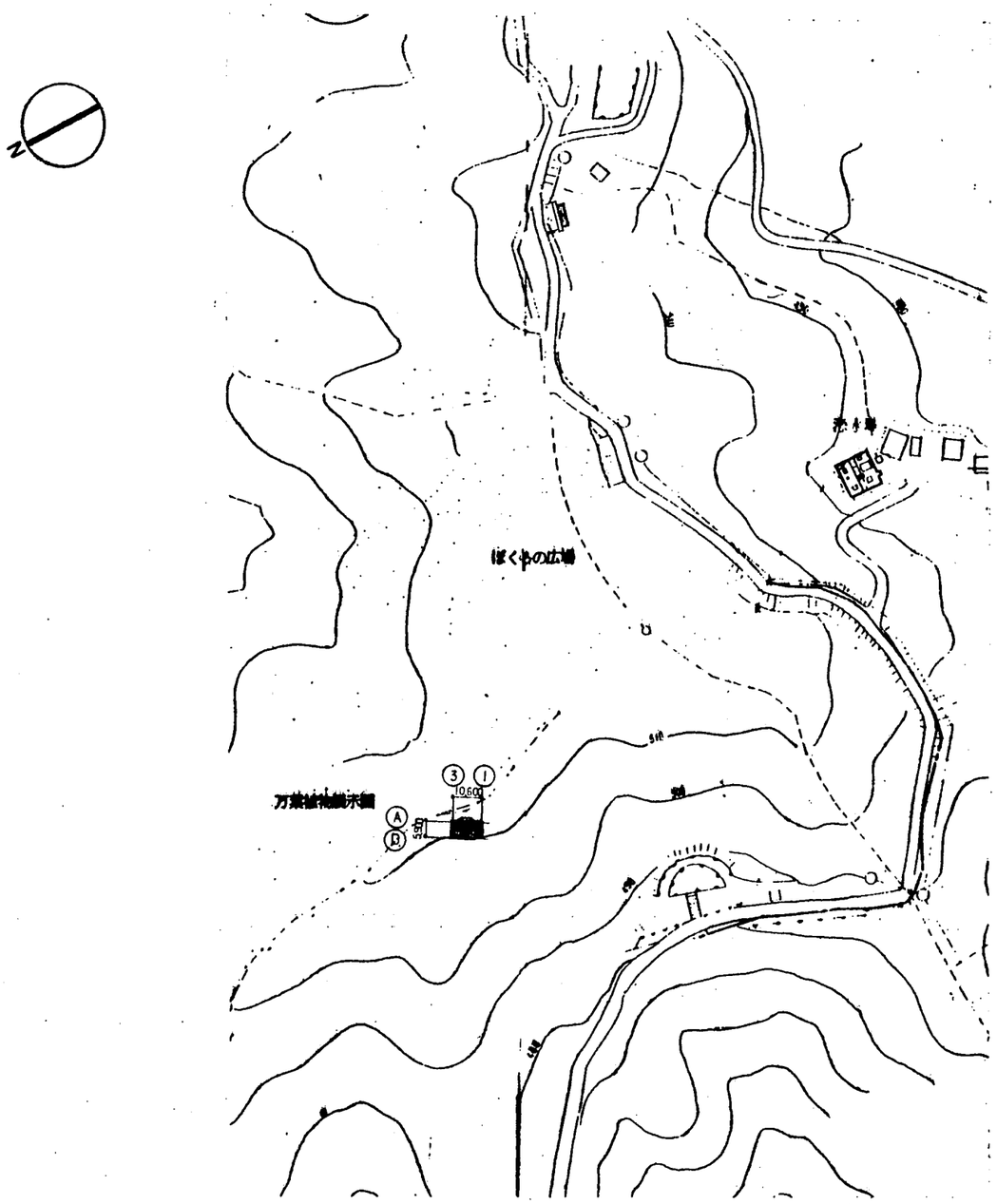
建築面積	イ	4.40 x 0.50	= 2.20
	ロハニ	5.40 x 10.60	= 57.24
			59.44 m²
延床面積	イロ	59.44 − (2.40 x 1.00 + 5.30 x 1.70)	= 48.03 m²

内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	備考
男子便所	床用磁器タイル 100角	磁器タイル100×50 タテ貼り	腰部：磁器タイル100×50 タテ貼り 化粧耐蝕合板㎜7.5 上部：杉板 15×150 横貼り	杉板 24×305 横貼り(野地板兼用)	大便器内 システム棚(幼児用無.)
女子便所	同上	同上	同上	同上	同上
多目的便所(男女共)	同上	同上	同上	同上 一部，杉板㎜15×150本実貼(木下地)	身障者用手摺，フィッティング台
機械室	コンクリート金ごて押え	コンクリート打放シ	ラワン合板㎜4ベニ	杉板 24×305 本実貼り(野地板兼用)	

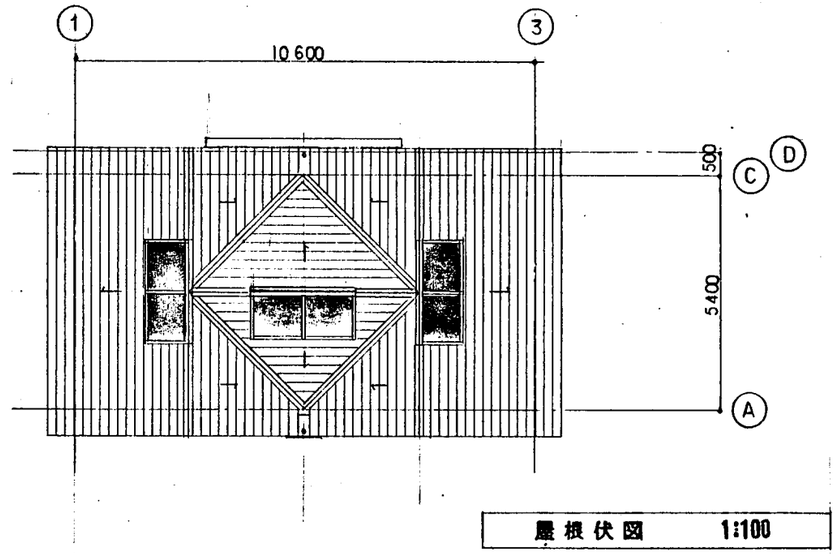
注記) 木部は，内外共，着色防腐剤3回塗りのこと。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ墓地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A－5
								図面名称 外部仕上表 内部仕上表 面積表	縮尺	整理番号 — —	

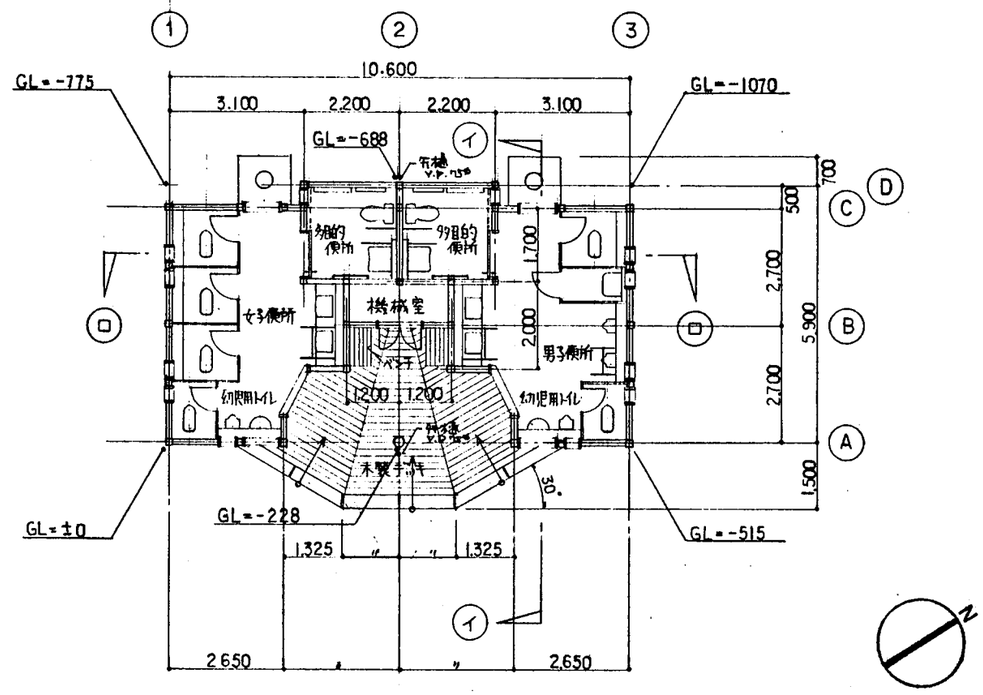


配置図　1:1,500

註）建物配置は、現場にて監督員と十分打合せの上、決定のこと。



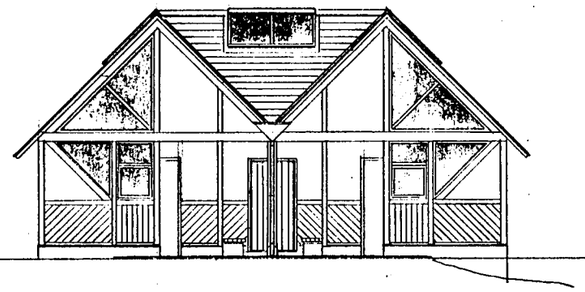
屋根伏図　1:100



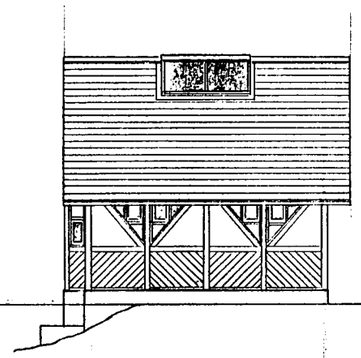
平面図　1:100

註）引出線GL＝　は、現況GLレベルを示す。

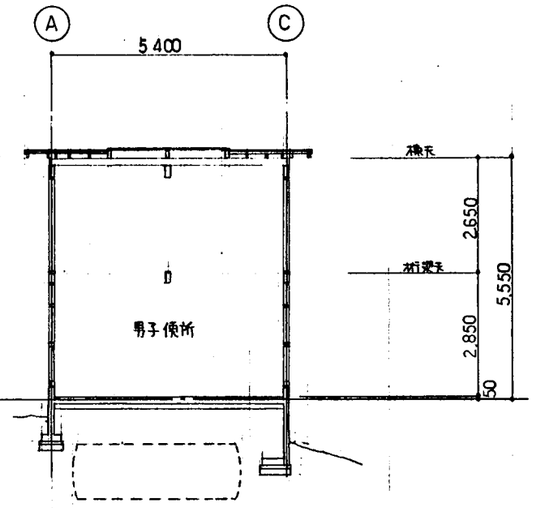
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		担当	財団法人　大阪府建設監理協会	工事名称　なるかわ農場トイレリフレッシュ工事 図面名称　配置図・平面図　縮尺 1:250 1:100 屋根伏図	設計番号 ―	設計年月日 平成　年　月　日 管理番号 ― ―	図面番号 A－6



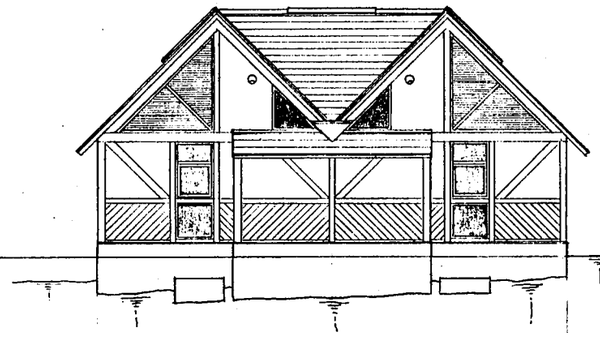
東　立面図　1:100



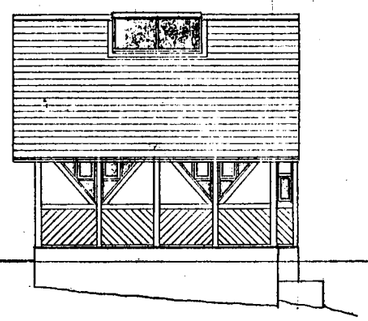
南　立面図　1:100



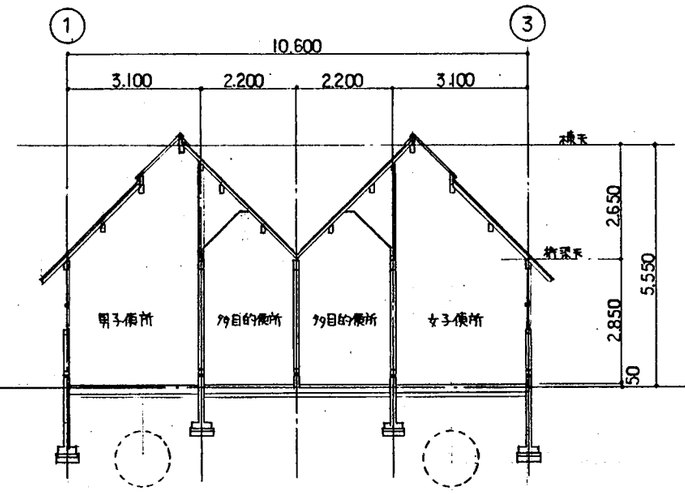
イ－イ　断面図　1:100



西　立面図　1:100

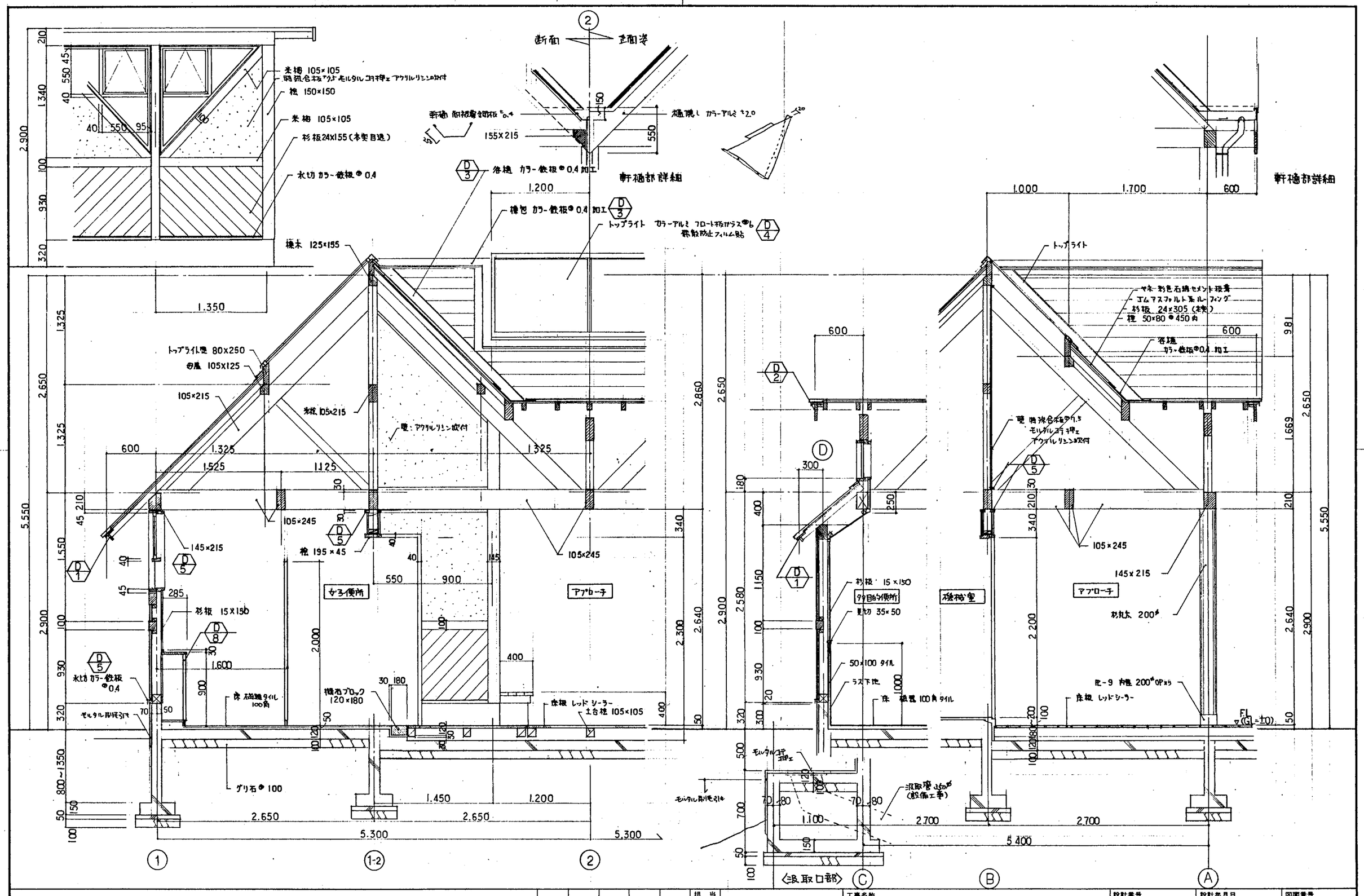


北　立面図　1:100



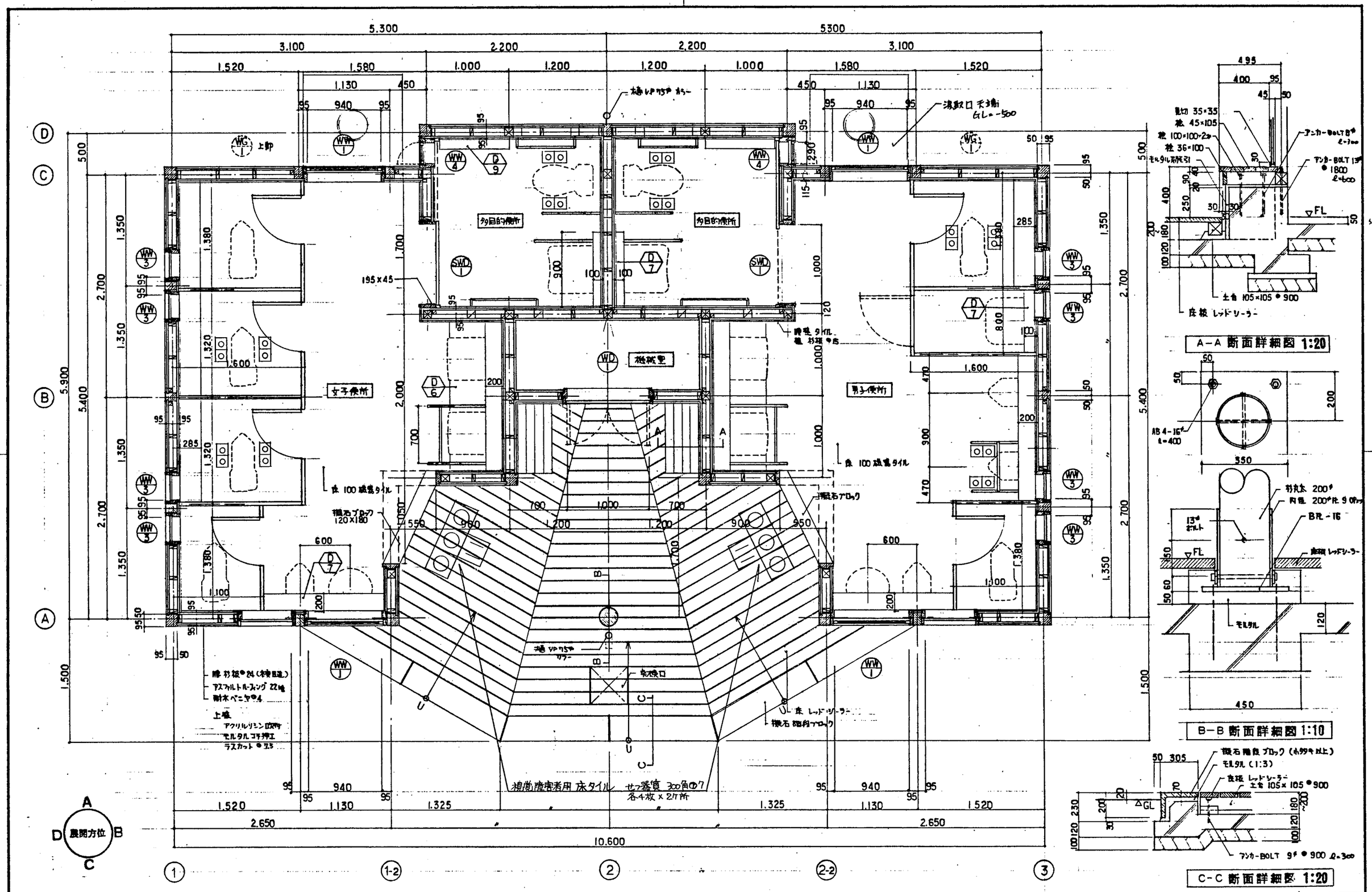
ロ－ロ　断面図　1:100

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者 林	担当			担当	財団法人　大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成　年　月　日	図面番号 A－7
							図面名称 立面図・断面図　縮尺 1:100	整理番号 — —		



事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者	担当	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日
					図面名称 断面詳細図 縮尺 1:30	整理番号 — —	図面番号 A－8



凡例
▢▢ ; 視覚障害者用 床タイル せっ器質 150角 ⑦15 各4枚×64所

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

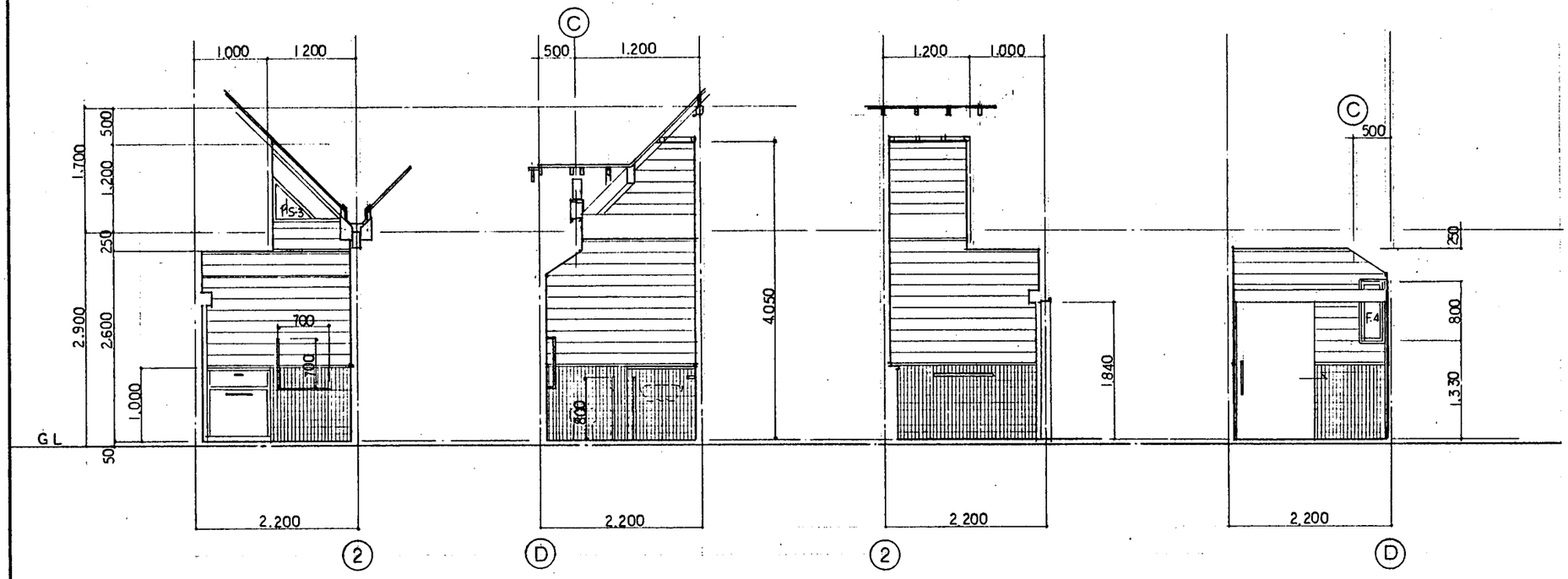
代表者	林	担当		財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称	なるかわ運地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A-9
					図面名称	平面詳細図 縮尺 1:30 1:20 1:10	整理番号 —	—	

1階の底面図は女子便所に準ずる。

凡例
S-3 : フロート板ガラス の3を示す。
S-6 : 〃 〃 の6 飛散防止フィルム貼を示す。
F-4 : 型板ガラス の4を示す。
F-6 : 〃 〃 の6を示す。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

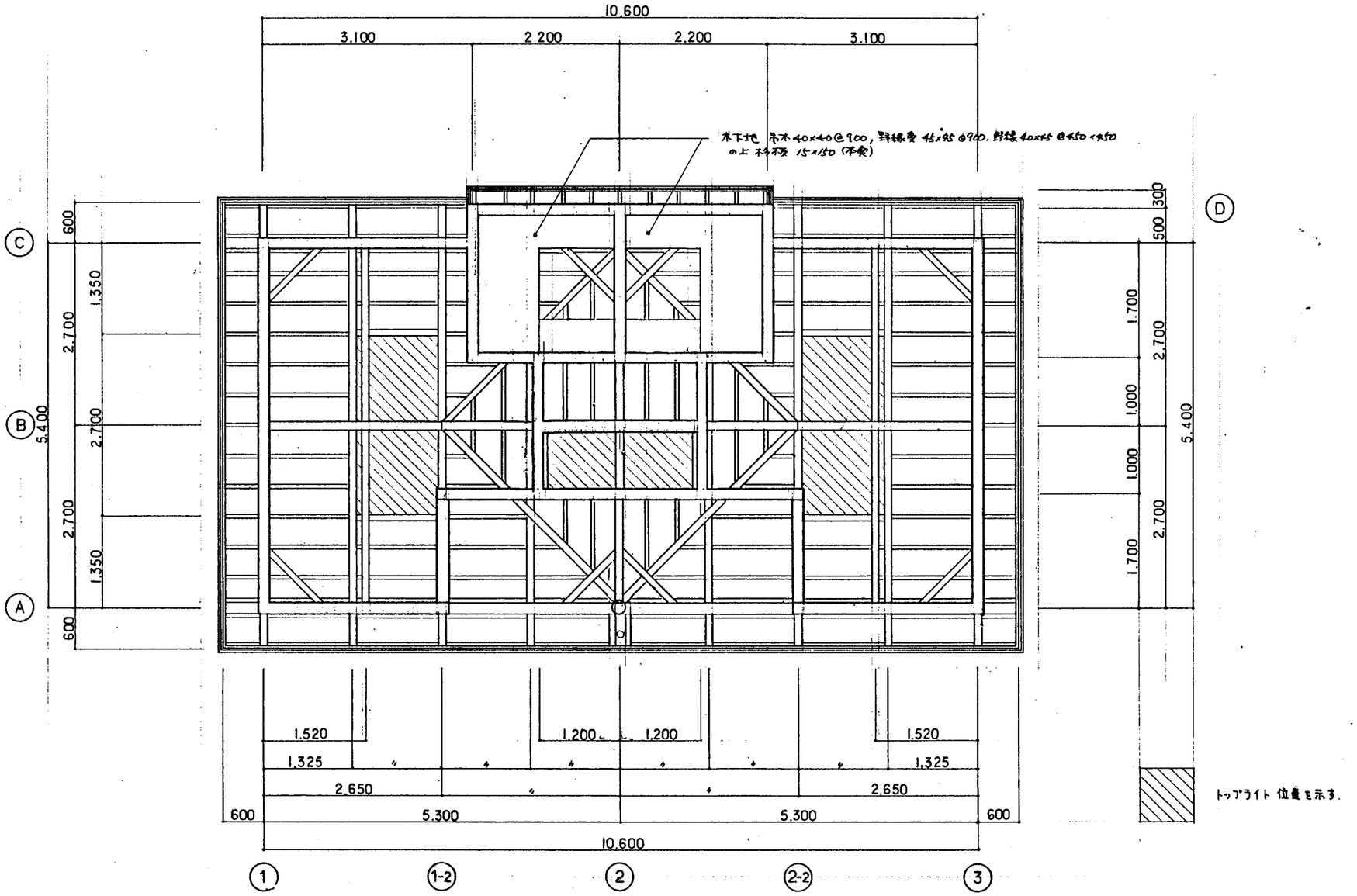
代表者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日
							図面名称 展開図 (1) 縮尺 1:50	整理番号 — —	図面番号 A-10



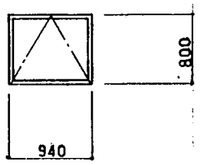
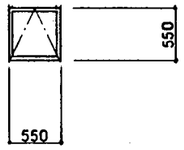
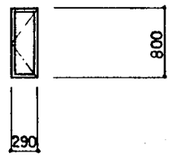
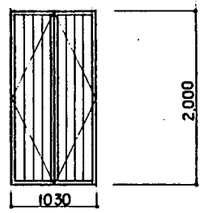
女子労働者用便所

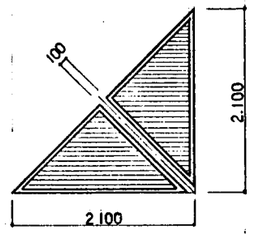
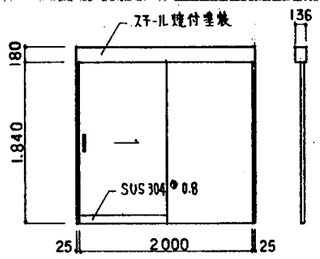
第3労働者用便所と共通

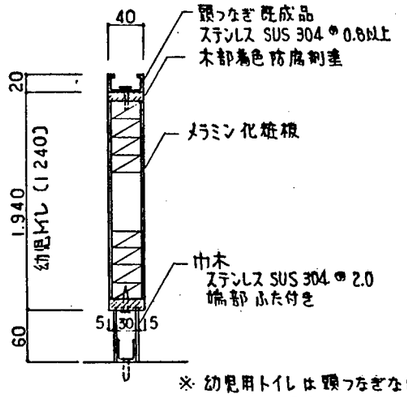
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A－11
								図面名称 展開図（2） 縮尺 1:50	整理番号 — —		



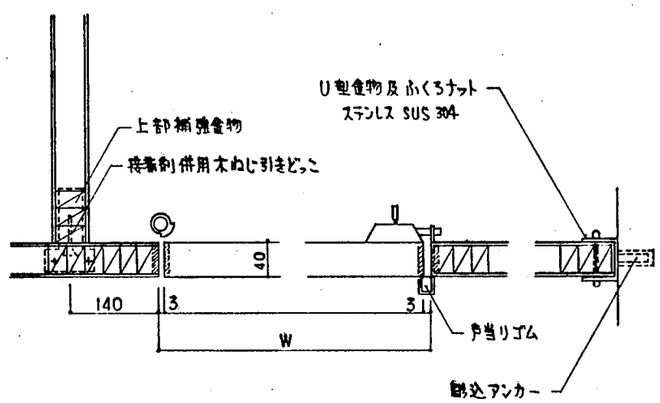
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A-12
					図面名称 天井伏図 縮尺 1:50	整理番号 — —		

記号	WW1 突出シ窓	WW2 突出シ窓	WW3 引開キ窓	WD1 両開キフラッシュ戸
姿図				
数量 見込	4 36	8 36	2 36	1 36
場所	男女便所	〃	男女多目的便所	機械室
仕上 材種	着色防腐剤塗 桧	〃	〃	着色防腐剤塗 外 杉板@12 内 ラワンベニヤ
硝子	展開図による.	〃	〃	
附属金物	丁番 カムラッチハンドル. あおり止メ	丁番. カムラッチハンドル, あおり止	〃	ステンレス丁番: フランス落シ. ケースロックケースハンドル錠 (内外空錠).
備考				ステンレス製台座 t2.0 HL

記号	WG1 固定ガラリ	SWD1 上吊引戸 ワンタッチ開閉式
姿図		
数量 見込	2 45	2 33
場所	男女便所 上部	多目的便所
仕上 材種	着色防腐剤塗 桧	メラミン化粧合板フラッシュ 木口木貼
硝子		
附属金物		上吊金物一式 ステンレス引手(H=400) 引戸用表示錠
備考	羽根 桧 6×36@45	戸当りゴム



※ 幼児用トイレは顎つなぎなし
(吊元ブース工場先付ノリ大型ビス併用)



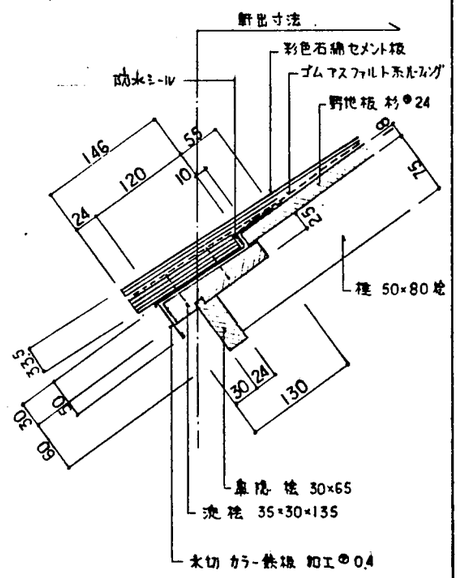
金物 大便部
ラバトリーヒンジ
表示付 リムボルト戸当りゴム付
掛金掛ケ戸当り

掃除用具入
把手(横玉)
L型マグネットキャッチ
リムボルト戸当り付
扉部分にプラスチック型名板貼付

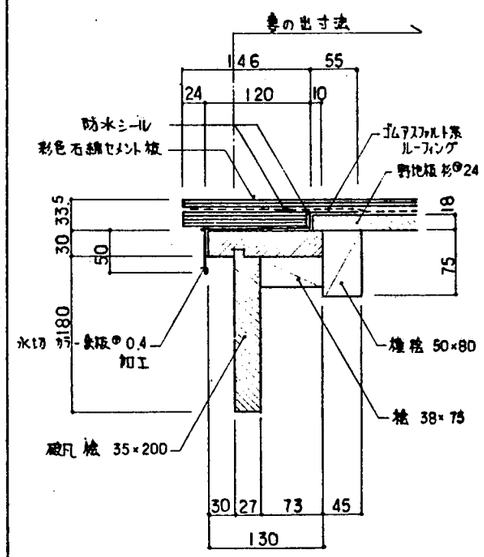
注. 型枠寸法は各詳細図参照.
R加工部はポストフォームとする.

事業名: 平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名: 大阪府東大阪自然保護事務所	代表者 林	担当	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ緑地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A-13
						図面名称 建具表	縮尺 1:50 1:5	整理番号 — —	

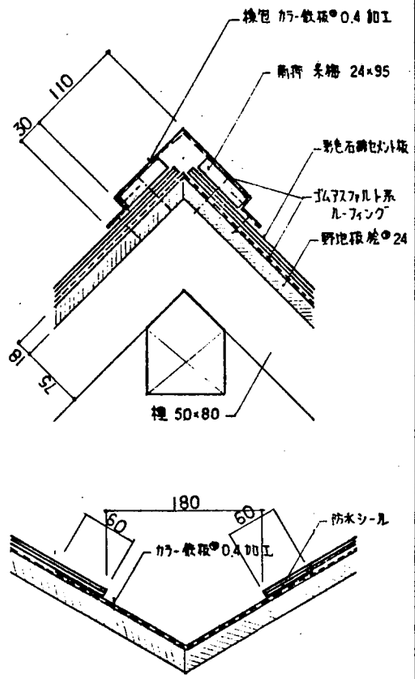
D1 軒先詳細 1:5



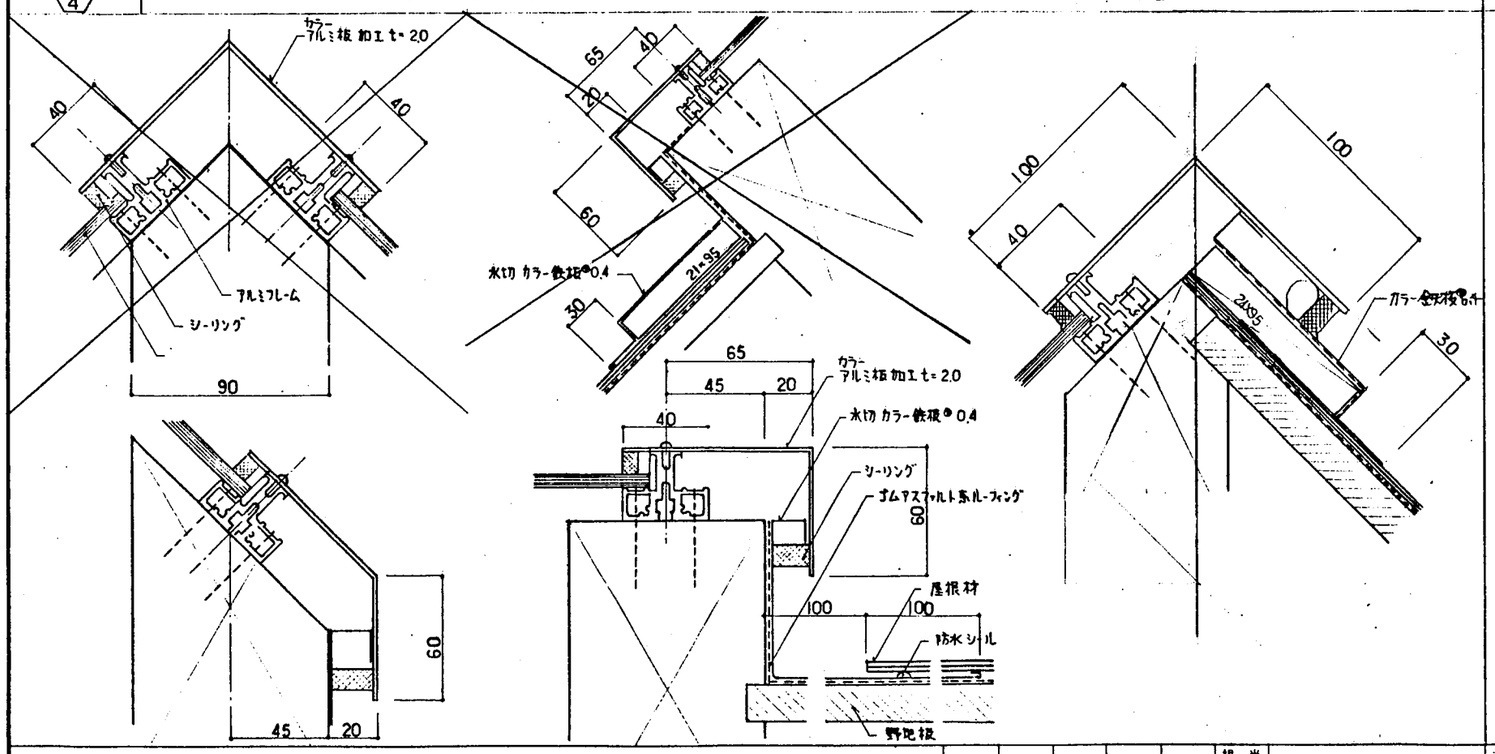
D2 ケラバ詳細 1:5



D3 棟部及び谷部詳細 1:5



D4 トップライト廻り詳細 1:20



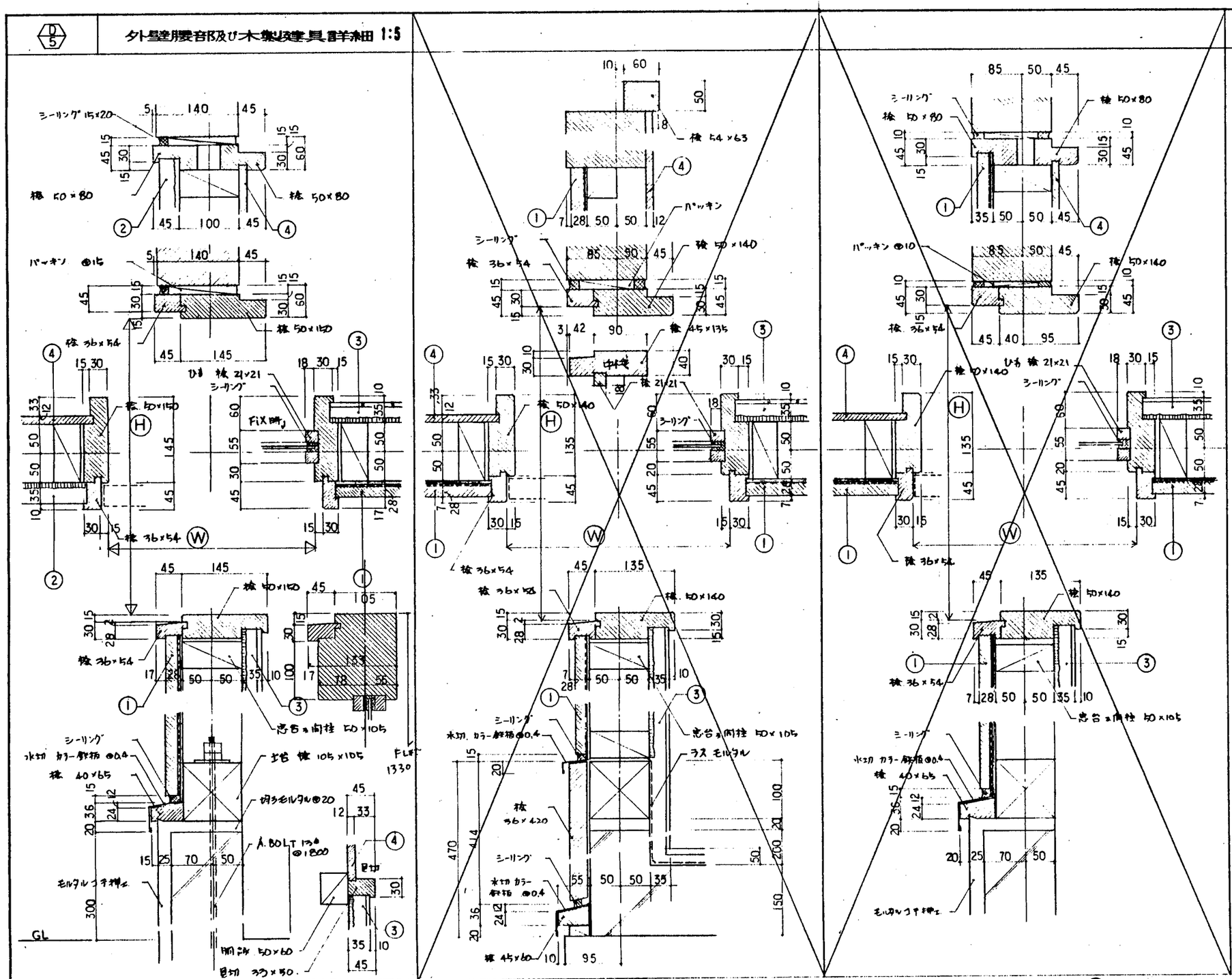
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会

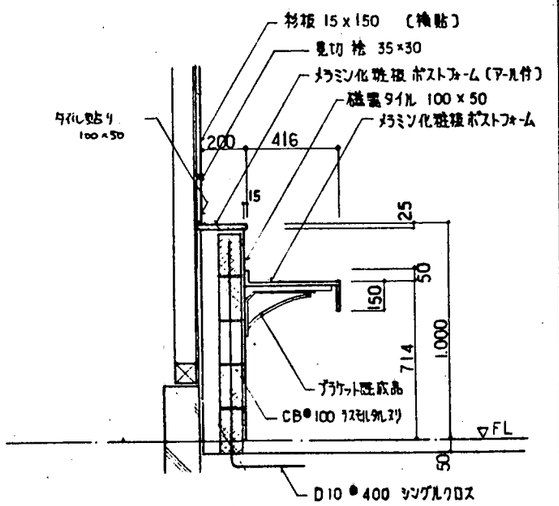
工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	—	平成 年 月 日	A－14
図面名称 部分詳細図 (1) 縮尺 1:20 1:5	整理番号 — —		

D 5

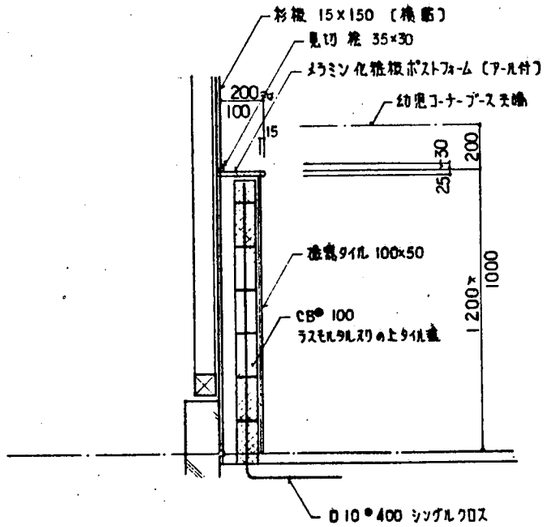
外壁腰部及び木製建具詳細 1:5


シーリング 15×20
桧 50×80
パッキン Φ15
桧 50×140
桧 36×54
ひき 桧 21×21
シーリング
FIX時
H
W
GL
FL 1330
忠告の間柱 50×105
土台 桧 105×105
切ラモルタルΦ20
A.BOLT 13φ @1800
モルタルコテ押え
水切 カラー鉄板 Φ0.4
桧 40×65
目切
胴縁 50×60
目切 33×50
桧 54×63
パッキン
桧 45×135
中桟
桧 21×21
桧 36×420
桧 45×60
ラスモルタル
桧 50×140
桧 36×54
桧 50×80
桧 50×140
桧 36×54
桧 50×140
桧 40×65
桧 36×54
桧 50×140
桧 36×54
桧 50×140
桧 36×54
桧 50×140

D6 洗面カウンター詳細 1:20

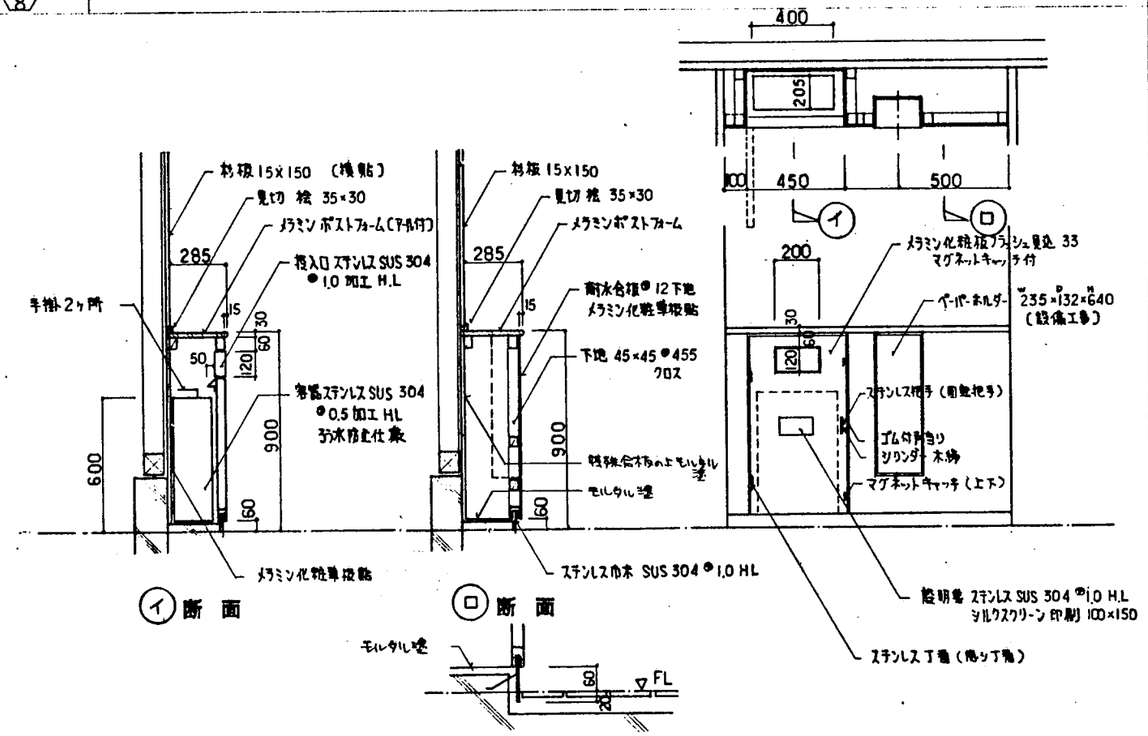


D7 小便器・洗面及びSK流しバック詳細 1:20

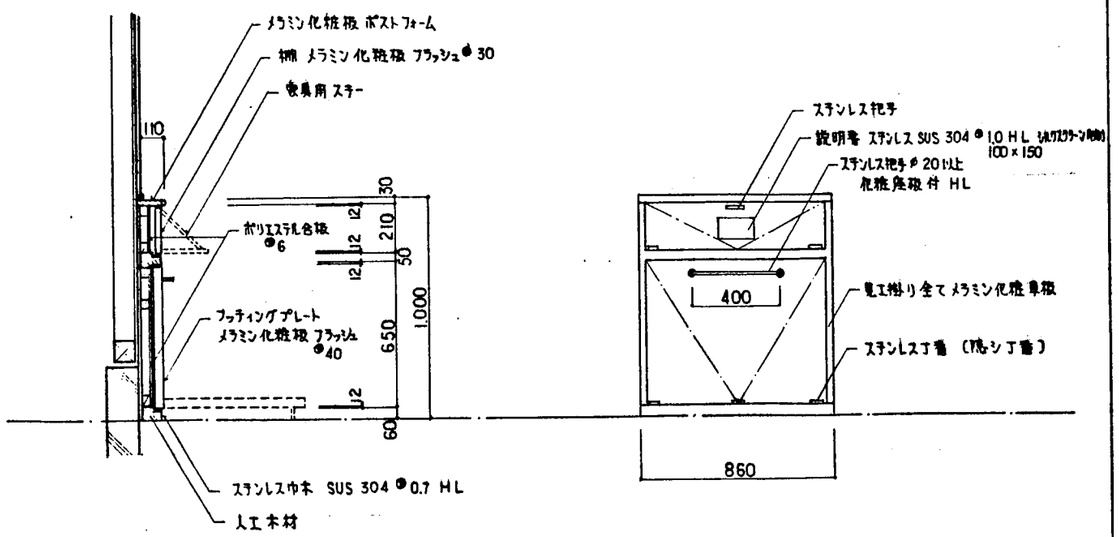


特記なき限り左図に倣う

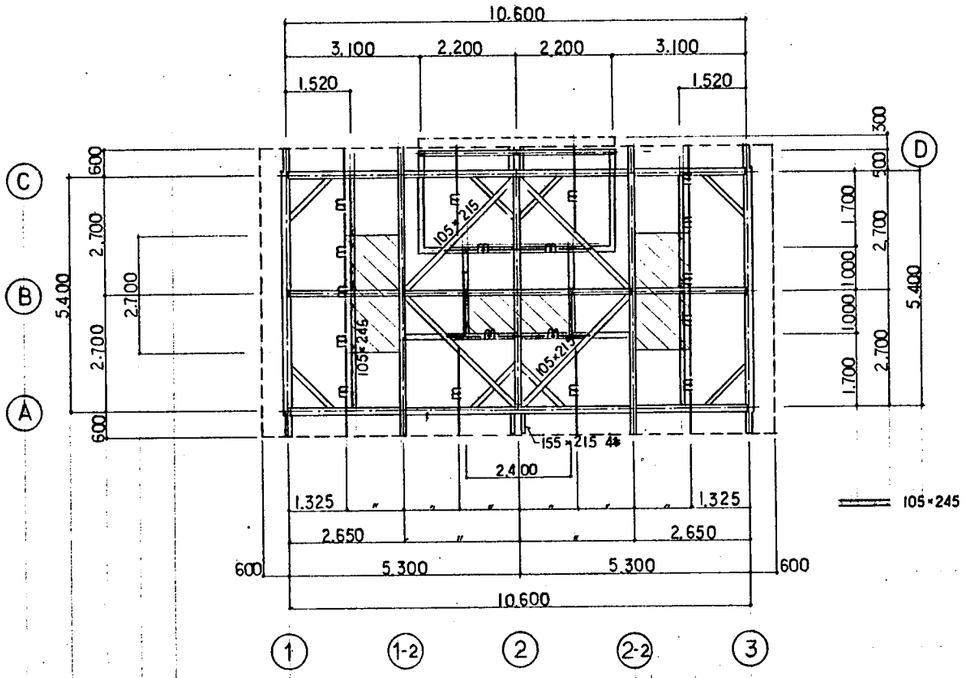
D8 システム棚(大便器内)詳細 1:20



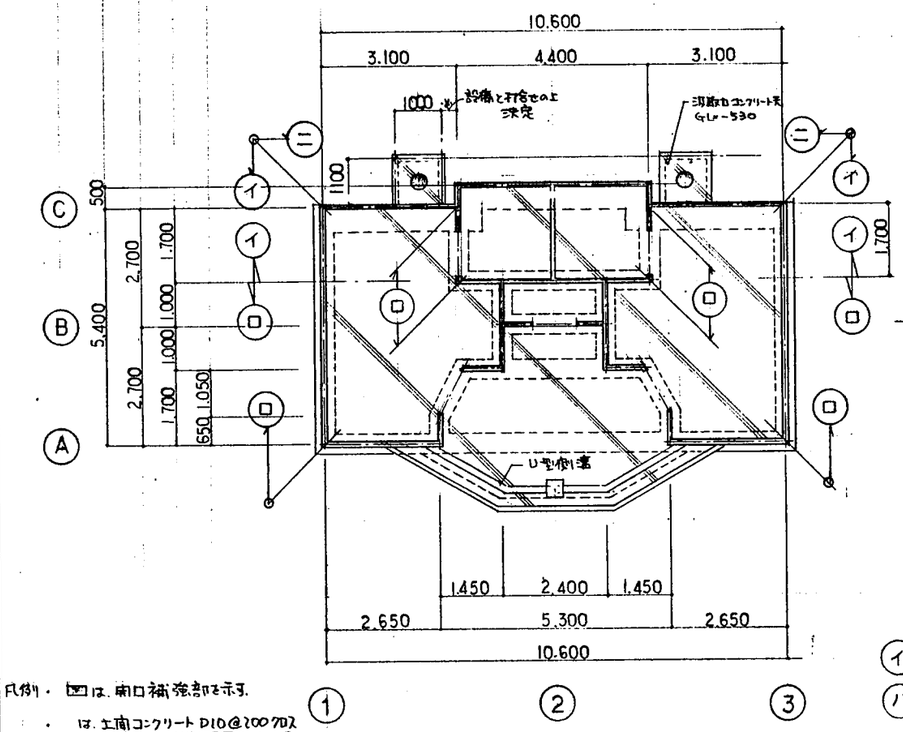
D9 フィッティング台詳細 1:20



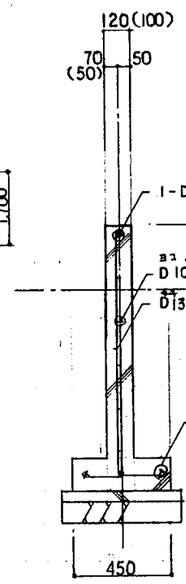
事業名:平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名:大阪府東大阪自然保護事務所	代表者	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称	なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号	設計年月日	図面番号
					図面名称	部分詳細図 (3) 縮尺 1:20	整理番号	平成 年 月 日	A-16

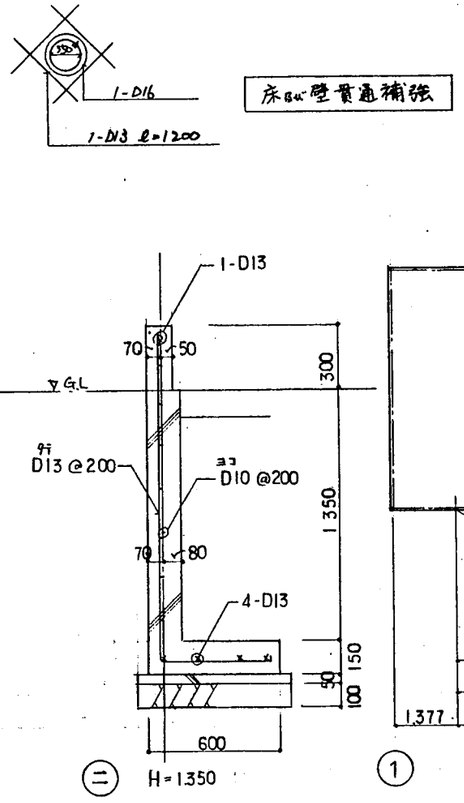


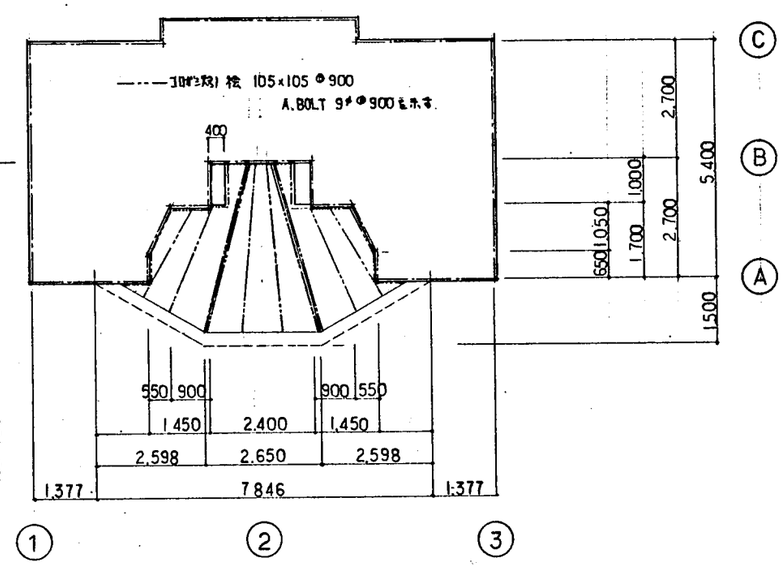
屋根伏図 1:100



基礎伏図 1:100







床伏図 1:100

凡例・ ▨は、南口補強部を示す。

・ は、土間コンクリート D10@200 ワリを示す。又、建物内土間砕石下は、十分転圧をすること。

・※特記なき限り、基礎は、(ハ)とする

・消防用の基礎は、ベタ基礎とし、水はけ穴 φ150 1ヶ所 設けること。

(イ) H=1,350　(ロ) H=800~1,350

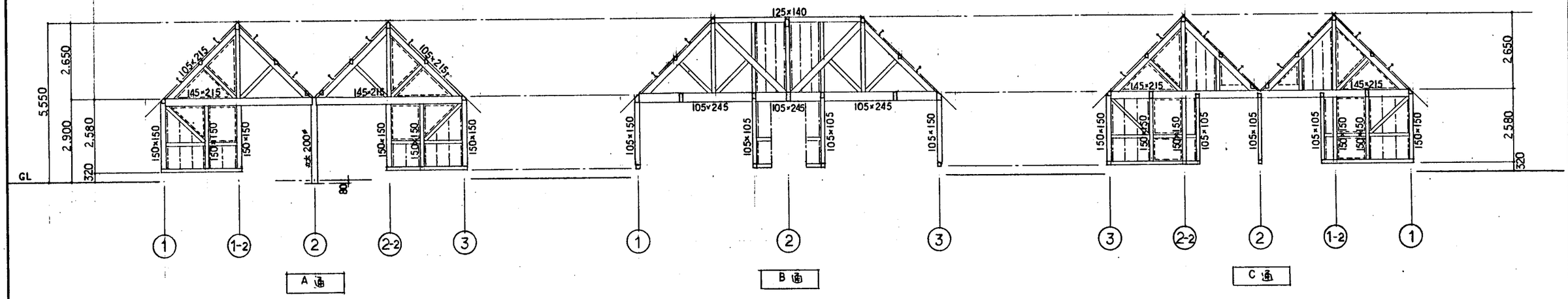
(ハ) H=800

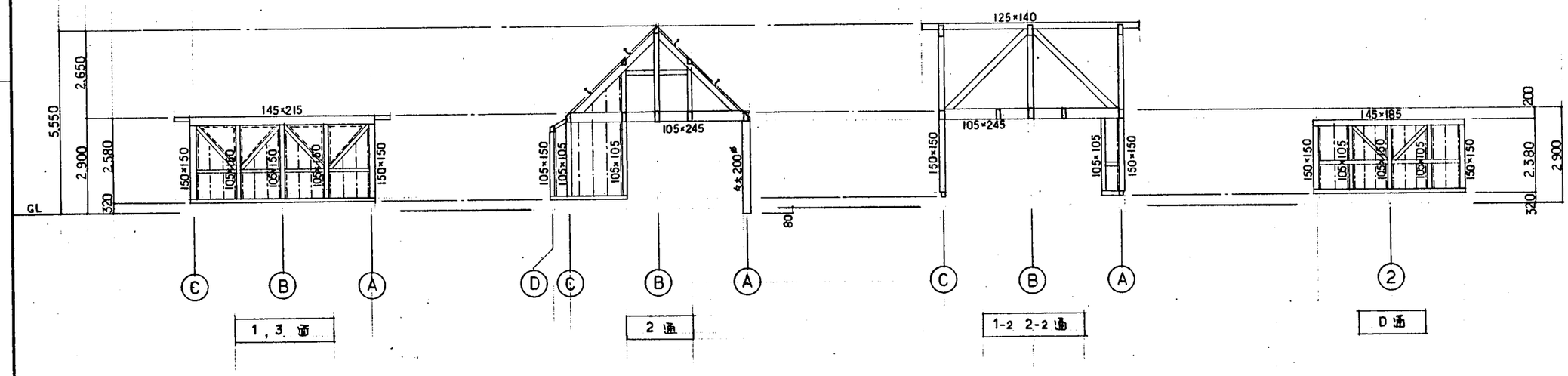
特記事項：( )内寸法は、建物内の基礎を示す。

部材リスト

土台	檜	105 X 105		防腐材使 A.BOLT 13φ@1800内	野地板	杉	24 305		本実
柱	米栂	〃			床板	レッドシーダー	40 X 143		目地シ張り ● 10
化粧柱	檜	150 X 150		コーナー	梁	檜	35 X30 X135		
〃	〃	105 X 105		中間	管梁	〃	35 X 135		
丸柱	〃	200φ			垂壁シ	〃	30 X 65		
間柱	米栂	50 X 105	●450内	壁内ものを通しには補強材として 105×105を入れること。	破風	〃	35 X 200		
梁桁	米松	図示			窓・枠	〃	50 X 150 36 X 55		
横木	〃	125 X 155			ドアライト受	〃	80 X 250		
母屋	檜	105 X 125		—m—m—記号	外壁材	杉	'24 X 125	下地アスファルトルーフィング 防水ベニヤ ● 4	本実目地シ
棟	〃	50 X 80	●450内	—t—t—記号	内壁材	〃	15 X 150		
火打梁	米松	95 X 95		ボルト 9φ 棒					
隅ワナギ	米栂	105 X 245							
化粧鼻	〃	105 X 105							
コロガシ大引	米栂	〃	●900内	防腐材より A.BOLT 9φ●900	・目地 ボーダー、サッシ枠、サッシ、内外壁板、化粧柱等 仕上材は				
小屋束、方ツエ	米栂	〃			カンナ掛けの上 海色防腐剤3回塗				
合掌	米栂	105 X 215			・その他 構造部材はプレナー掛けとする				
鉄木	米松	〃			・				

					担当		工事名称 なるかわ團地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A－17
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		財団法人 大阪府建設監理協会	図面名称 構造図(1) 縮尺 1:100	整理番号 — —		





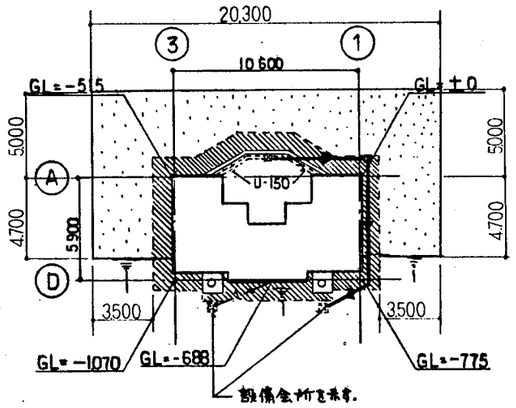
凡例：-------- 鬼柱

———— 間柱

合掌材は全て 105×215 とする。

軸 組 図 1:100

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 A－18
								図面名称 構造図 (2) 縮尺 1:100	整理番号 —	—	



凡例

—4— VP排水管 15かを示す。勾配 1/100以上とする。

砕石敷 ㎡60を示す。 ㎥1000

⑦㊀ 排水金物を示す。

U- U字型側溝を示す。

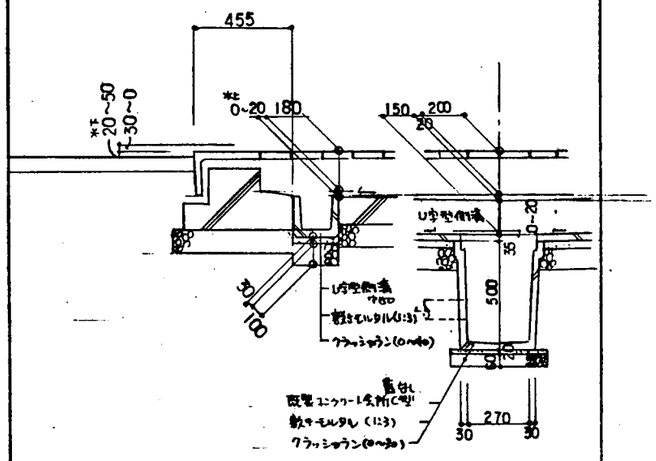
—t— 柱を示す。

註) 排水管40~柱は設備金物支柱に衝かすること。

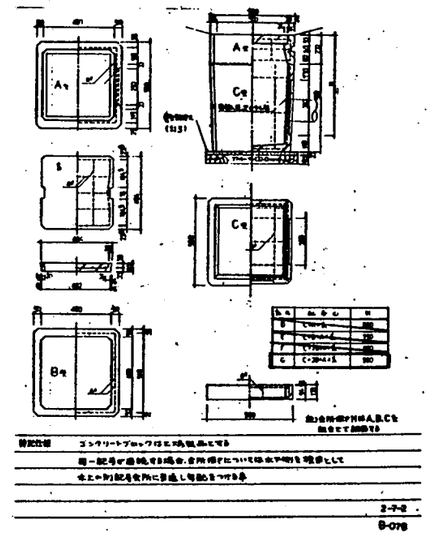
芝貼を示す。(野芝、ベタ貼)
(砕石敷との重複部分は砕石敷を取りやめる。)

配置図 1:250

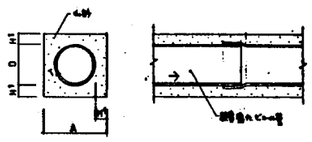
U字型側溝及び㋐既製コンクリート会所 1:30



㋑ 既製コンクリート会所 1:30



排水管敷設詳細図 1:40



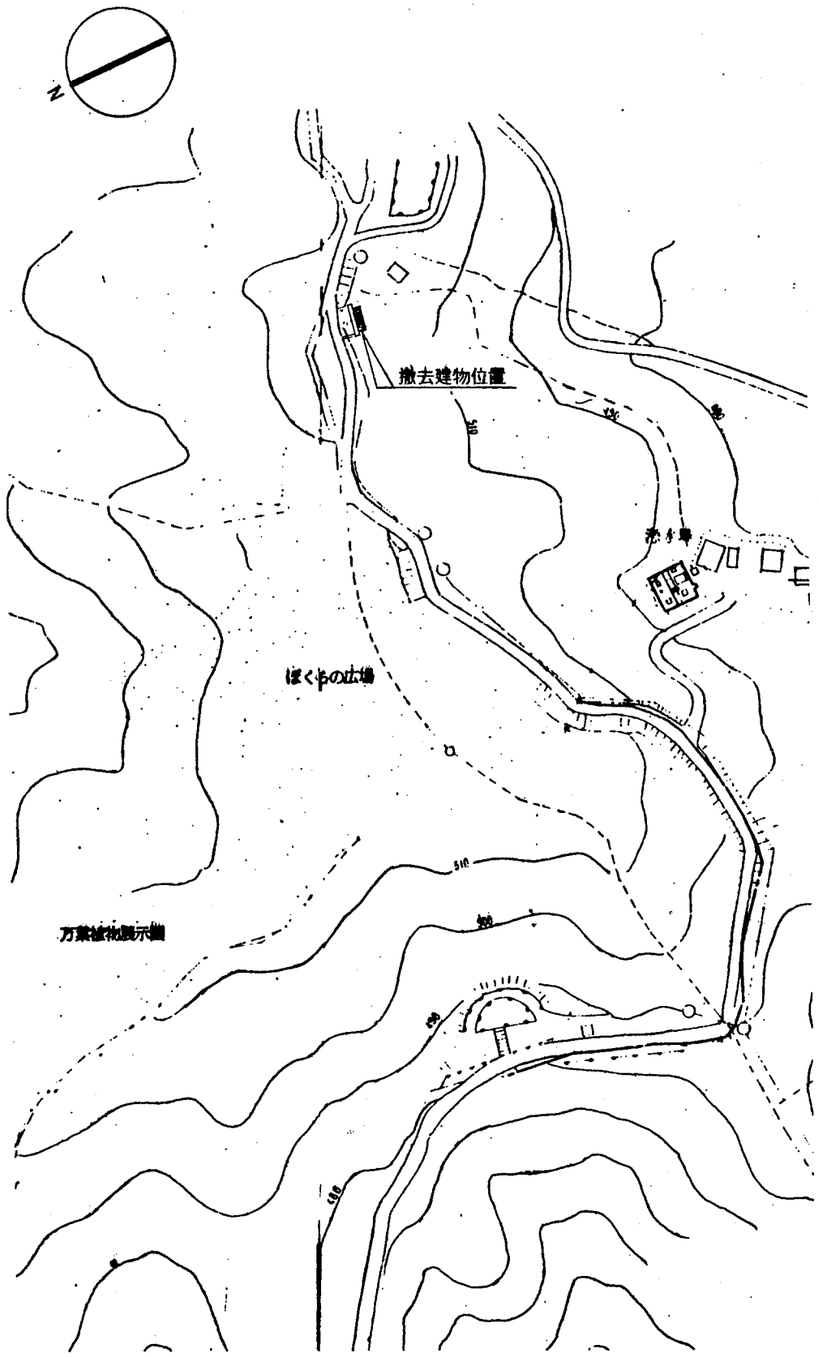
φ(mm)	A	D	H1	T
100	314	114	100	3.5
125	340	140	100	4.5
150	365	165	100	5.5
200	416	216	100	7.0

工事名称	なるかわ墓地トイレリフレッシュ工事		設計番号	設計年月日	図面番号
図面名称	外構詳細図	縮尺 1:30		平成 年 月 日	A－19

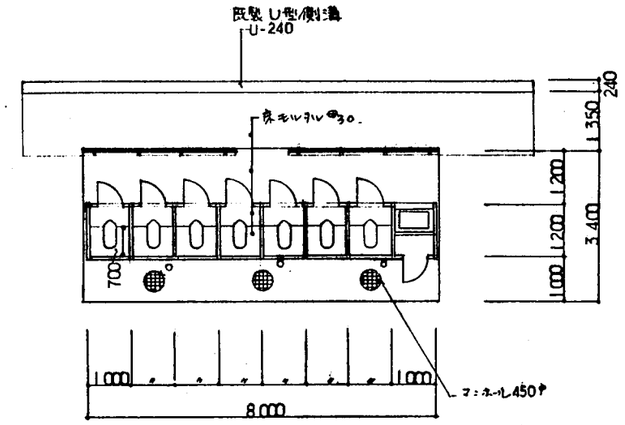
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者 林 印 印

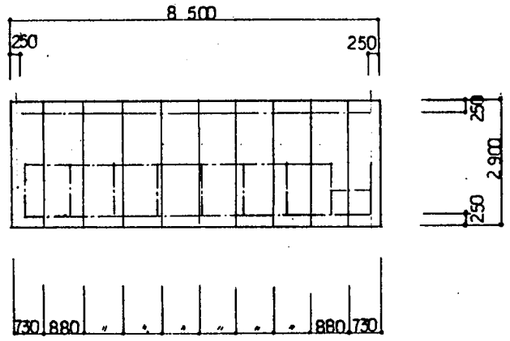
財団法人 大阪府建設監理協会



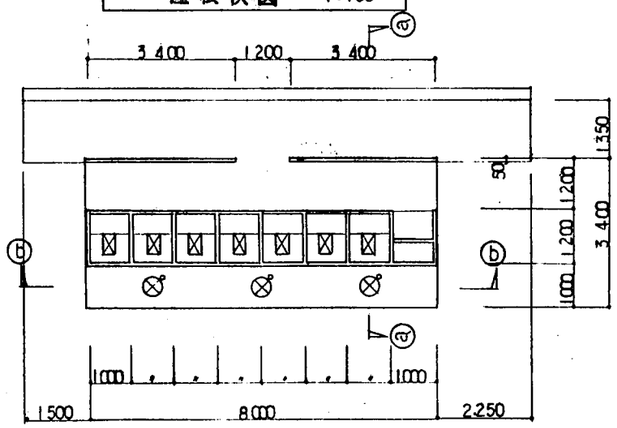
建物位置図　1:1500



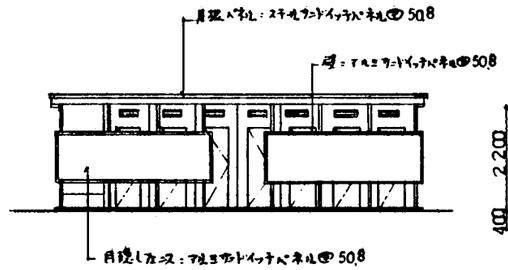
平面図　1:100



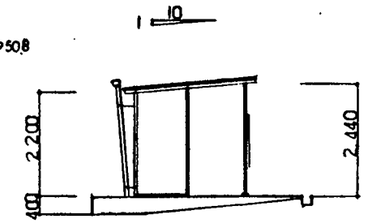
屋根伏図　1:100



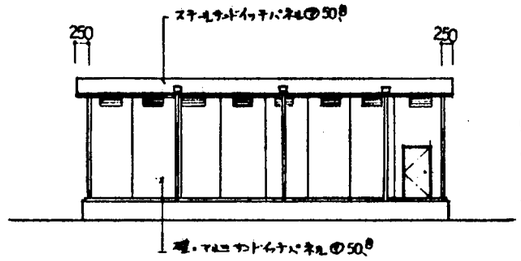
基礎伏図　1:100



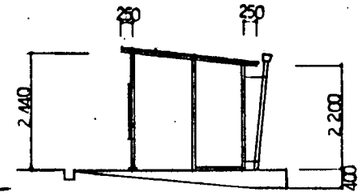
北立面図　1:100



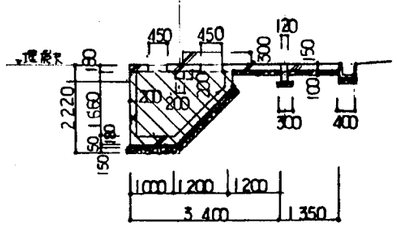
東立面図　1:100



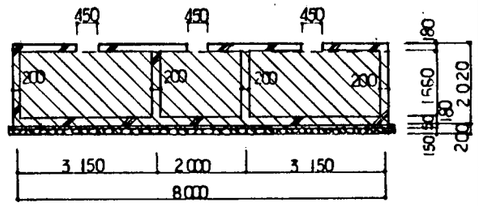
南立面図　1:100



西立面図　1:100



ⓐ-ⓐ 断面図　1:100



ⓑ-ⓑ 断面図　1:100

仕上表		
	屋根パネル	スチールサンドイッチパネル @50.8t
		表面材 ---- スチール板 0.6t フラット焼付塗装
		芯材 ---- インシュレーションボード
	壁パネル	アルミサンドイッチパネル @50.8
		表面材 ---- アルミ板 0.6t エンボス焼付塗装
		下地材 ---- 耐水合板 @4.0
		芯材 ---- インシュレーションボード
	建具	大便所扉 (アルミクリンプパネル @35)
		W600 x H1800　7枚
		点検口扉 (アルミクリンプパネル @35)
		W500 x H1200　1枚
		採光ガラリ W500 x H200 15枚

特記事項：　埋戻土は、新設便所の現場発生土とする。

▨ 部は、存置部分を示す。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

担当	代表者	担当
	林	

財団法人　大阪府建設監理協会

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	—	平成　年　月　日	A－20
図面名称 撤去 建物位置図　縮尺 1:100	管理番号	—	—
撤去 便所詳細図			

特記仕様書（電気設備工事編）

1. 工事名称　なるかわ園地トイレリフレッシュ工事
2. 工事場所　東大阪市上四条町 地内
3. 工期　契約の翌日　より平成6年3月25日まで
4. 図面枚数　4枚
5. 火災保険　要　請負金額の　%　不要
6. 工事概要
   1) 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	備考
公衆便所	木造	1	48.03	

   2) 工事種目
      1. 低圧配線設備　~~新設分電盤より分電盤迄の配管配線及び~~分電盤の取付を行う。
      2. 電灯コンセント設備　分電盤より各負荷に至る配管配線、及び器具等の取付を行う
      3. 表示電鈴設備　身障者トイレ呼出制御器より、ベル・押釦・表示灯に至る配管配線及び各機器等の取付を行う

7. 共通仕様
   1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書」「標準図」（最新版）による。
   2) 工事に関する官庁、会社の定める諸法規に違反しないよう施工しなければならない。
   3) 建築工事、衛生空調設備工事を含む場合は、建設大臣官房官庁営繕部監修各「共通仕様書」「標準図」（最新版）による。

8. 一般共通事項（○印のついたものを本工事に適用する。○印がない場合は、※印を適用する。）

項目	特記事項
● 優先順位	1. 現場補足説明事項（質疑回答書を含む） 2. 特記仕様書 3. 図面 4. 共通仕様書及び標準図
● 機材	大阪府建築部電気設備工事使用機材指定製作所一覧表（最新版）による。（指定以外は別途特記する。）
● 手続き	官公署その他への手続きは請負者の負担とし遅滞なく行うこと。
○ はつり	既存のコンクリート床、壁の配管貫通の穴明けは、原則としてダイアモンドカッターを使用する。
● 発生材の処理	関係法令により処理すること。
○ 再使用機器	取外した上再使用する機器は、機能、外観等を確認し清掃のうえ取付ける。
● 残土処分	※構内敷きならし　※構内指示場所に堆積 ※構外搬出処理
● 寸法	機器について図示した寸法は、参考寸法とする。
● 引渡し及び管理責任	1. 完成検査に合格したときは、書類を添えて引渡しを行う。なお、工事完了後引渡しまで請負者に於て管理上の責任をもつ。 2. 引渡し物品一式を監督員の指示により所定の場所に整理し、調書を添えて施設管理者に引渡す。
● 記録	完成後外部から見えない主要な部分及び各工事の施工段階の工事写真（カラー写真、サービスサイズ以上）を提出する

項目	特記事項
● 完成図書	1. 記載上の注意 (a) すべての設計変更及び現場変更後の状態を明確に記載する。 (b) 地中埋設管路等の位置、深さなどは基準となる位置からの寸法を正確に記載する。 2. 完成図書は、2部提出とし、原図その他図書への綴り込み内容は別に定める協会指定による。
○ 電線	特記のないものはIVとする。
○ 呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、屋内は41.6㎜以上のビニル被覆鉄線を、屋外はIV2.0㎜を挿入する。
● フラッシュプレートの材質	※ 樹脂製 ※ ステンレス製
○ フロアプレートベース	水平高低調節付プレート（空転防止付リング付）とする。 鉛金製（アルミ製の場合は明記すること）
○ 特殊形コンセント	20A以上、3P、4P及び特殊形のコンセントは、差込プラグ付とする。（フアンコイル用コンセントは除く。） 接地極付コンセントの接地は、パイプアースでもよい。
● 塗装	金属管露出の場合　※要　不要

10. 工事種目別仕様

種目	項目	特記事項
低圧配線設備	● 電線	● 地中線で特記なきものは　● CV　○ VVR ○ 架空線で特記なきものは　○ OW　○ DV
	● ハンドホール	構造寸法は　○ 電気設備工事標準図による。　● 図示による。 蓋の記号表示は　○ 電気設備工事標準図による。　● 図示による。 ○ ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略しても良い。 ● ケーブル支持材を設ける。
	○ 余長	低圧ケーブルは、引込口及び引出口又は最寄りハンドホール内で3mの余長をとる。
	● 電気方式	○ 三相3線式　○ 200V　● 単相3線式 100/200V ○ 単相2線式　○ 100V　○ 200V
	● 施工方法	● 地中線　管路式　ライニング鋼管 直埋式　硬質ビニル電線管（VE） ● 波付硬質ポリエチレン管 耐衝撃性硬質ビニル電線管（HIVE） 埋設深さ　特記なきはGL－300とする。 ○ 架空線　電柱　※遠心力プレストレストコンクリートポール 支線　※特記なきは亜鉛めっき鋼線

種目	項目	特記事項
動力設備	○ 電気方式	三相3線式　200V
	○ 施工方法	○ 金属管工事　○ ケーブル工事
	○ 保護継電器	制御盤結線図の保護継電器で2Eは、熱動形過負荷単相運転防止継電器とする。
	○ 電流計	電流計はコンテンサよりも負荷仰に接続する。
	○ 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする　接続方法は図示による

種目	項目	特記事項
電灯コンセント設備	● 電気方式	単相2線式　100V　200V 直流2線式100V
	● 施工方法	金属管工事　ケーブル工事
	● 配線器具	タンブラスイッチは埋込大角型とする。
		壁付コンセントは、原則として埋形とする　ただし、2口の場合は複式を使用してよい。（大角型）
	● 照明器具	別記による。
	○ 位置ボックス	(1) 非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設ける。 (2) ケーブル配線で末端となる所には、アウトレットボックスは設けなくてよい。 (3) 耐火電線の接続部は、耐火処理を行う。 （注）耐火処理とは、露出ボックス又はアウトレットボックスを使用し、内部にロックウールを充填する方法又は内部で耐火テープにて処理する方法をいう。
	● 蛍光灯	蛍光灯器具の安定器の回路方式及び電圧は、特記以外下記による。

蛍光灯の種類		回路方式	電圧（V）
ホームライト（コード又はチェーン吊りのもの）		GL	100
環形のランプ（ホームライトを除く）		GH	100
直管形のランプ	15形以下	GL	100
	20形（防雨形・防湿形・電池内蔵形非常照明及び誘導灯）	GL	100
	20形（上記以外のもの）	GH	100
	40形の避難口誘導灯	GL	100 200
	40形（避難口誘導灯を除く）及び100形	RH	100 200
コンパクト形のランプ	13・18・27W	GL	100
	36W	GH	100 200

種目	項目	特記事項
電灯コンセント設備	● 白熱灯	白熱灯電球は定格電圧110Vを使用する。
	○ 非常照明の形式	○ 電源内蔵形　○ 電源別置形
	○ フロアコンセント	形式は回転形又は引出形とし、ボックスは大形四角コンクリートボックス、深さ90mm以上とする。
	○ しゃ断器	しゃ断容量は安全ブレーカと特記ある場合は1,500Aとする。
	○ 予備配管	分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用しゃ断器2個以下の場合（25）を1本、3個以上の場合（25）を2本天井まで立上げる。
表示電鈴設備	○ 電気方式	表示　○ AC　100V　○ DC　V
	● 電線	○ IV　○ TIVF　● VV-F　● CVV-S
	● 表示灯	○ 図示
	○ 発信器	○ 図示
	● 電源装置	○ 図示
	● 電鈴	● BL　○ BZ　○ 図示
	● 押ボタン	● 押し切り形　○ 復帰形　○ 図示

注意事項

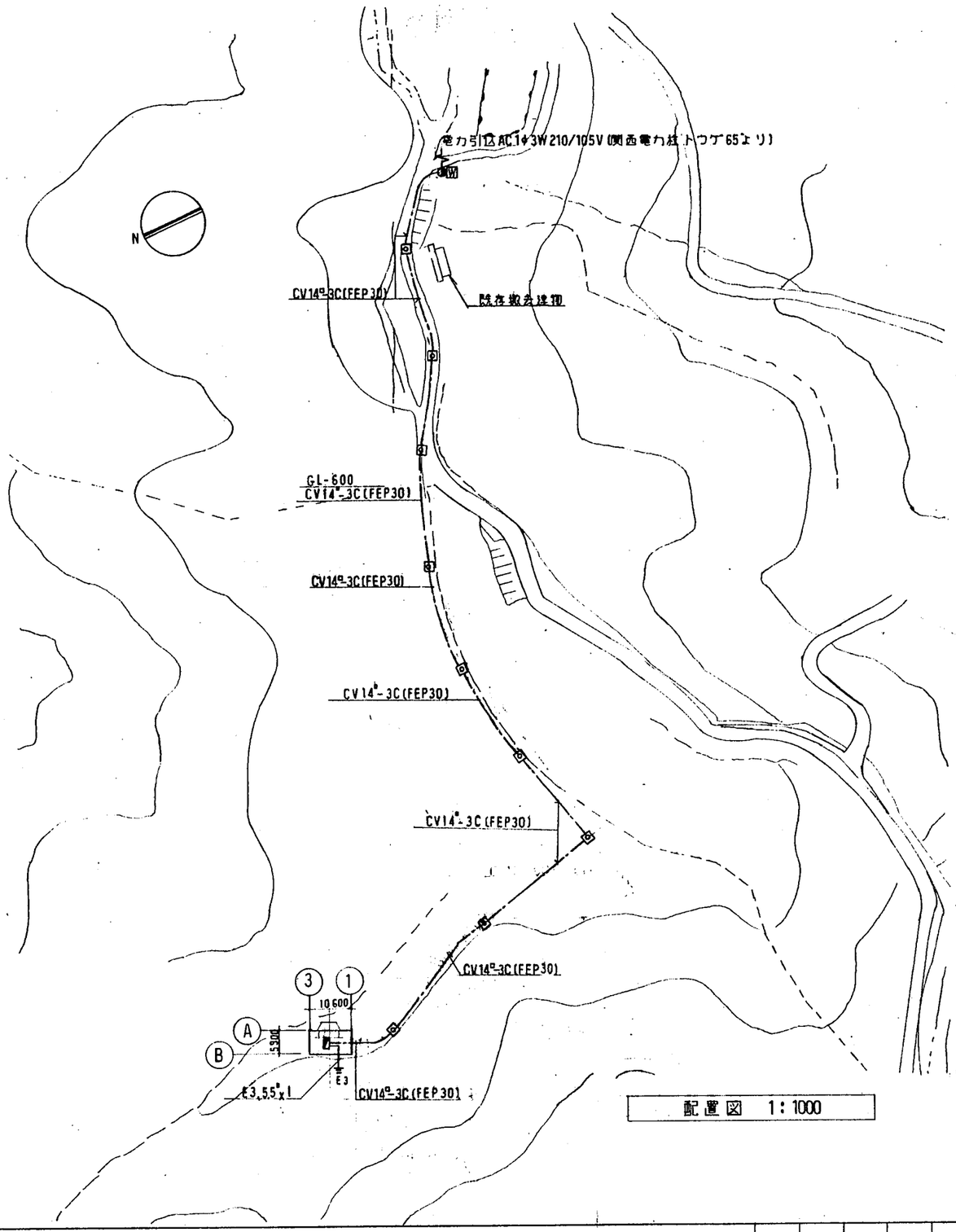
1. 合成樹脂製可という管（以下PF管という）を使用する場合一層タイプとし、隠蔽配管及びコンクリート打ち込み配管に使用する。但し、分電盤、端子盤等の2次側で、配管10本以上集中する場合は、第1ボックスまで鋼製電線管で施工する。
   (a) 鋼製電線管を使用する場合は、電線の収容本数を考慮する。
   (b) ボックスはPF管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
2. 分電盤・動力盤主回路の導体には、それぞれサーモラベルを貼付する。
3. 屋外に使用するものについては、（ステンレス以外）溶融亜鉛めっき（350g／㎡以上）し、耐塩処理を施すこと。
4. 予備品

電線の色別　（必ず記入すること）

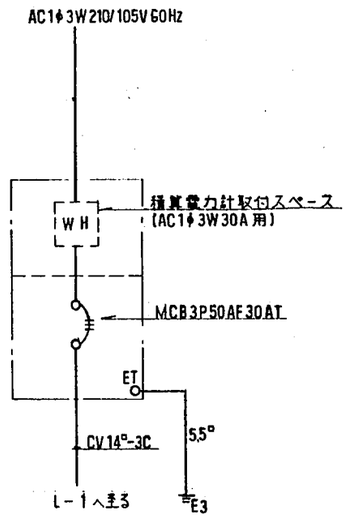
		種別			色別		
		電圧種別	配線方式	摘要	接地側	電圧側	スイッチ側
強電回路	一般回路	高圧	三相3線式		——	赤 白 青	——
		低圧	三相4線式		白	赤 黒 青	——
			三相3線式		白	赤 青	——
			単相3線式		白	赤 黒	——
			単相2線式	200V		赤 黒	黒
				100V 電灯	白	赤	赤
				100Vコンセント	白	黒	——
				100V電灯コンセント共用	白	青	青
	接地線				緑又は黄緑／黄		
	（備考）電線を分岐する場合は、分岐前の色別とする。						

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

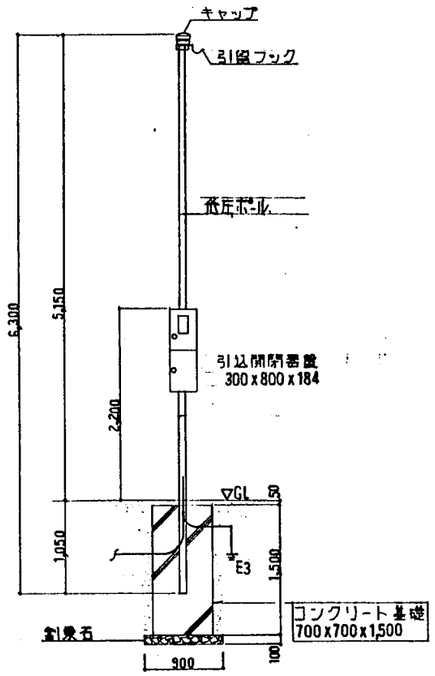
代表者	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
林			なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	—	平成 年 月 日	E－1
			図面名称 特記仕様書　縮尺	整理番号 — —		



配置図 1:1000



引込開閉器盤結線図



引込柱詳細図 1:50

注1) 図中ハンドホールサイズは下配の通り
同B形 600x600x500(蓋450中高重)

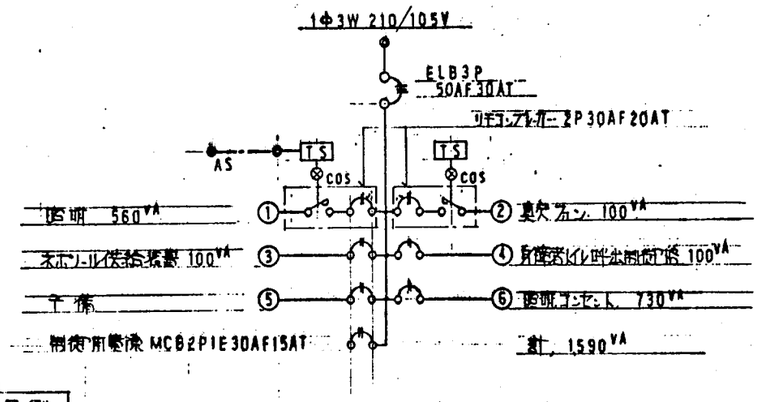
注2) 引込柱・引込開閉器盤及び配線は別途工事とする。建物内配管・接地工事・分電盤取付を本工事とする。

代表者 林	担当	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ団地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 E-2
					図面名称 配置図 縮尺 1/1000	整理番号 — —		

凡例

記号	名称・仕様	備考
A21	照明器具 FL40W×1 防湿型ジェットライン	松下電工 NF4104G相当品
B21	〃 FL20W×1 〃 下面開放	〃 FRS2-201
C21	〃 〃 反射板付	〃 FSR1-201
B 060	照明器具 1160W 防湿型ブラケット	ヤマギワ B-806相当品
H	埋込コンセント 2P15A×1	
H ET	〃 2P15A×1 接地端子付	防雨プレート付
H WP	〃 2P15A×1 防雨形	
•	埋込スイッチ 1P15A	
⊘	VV-F用ジョイントボックス	
•AS	自動点滅器 AC100V 3A	
▣	身障者トイレ呼出、非常用押釦	松下電工 EK51相当品
◎	〃 表示灯 防雨形	〃 EA4500相当品
BL	〃 警報ベル 防雨形	〃 EA4601相当品
□	〃 制御器	〃 EK963相当品
	分電盤 (L-1)	
	ネポール供給装置	
W	低圧引込ポール 引込開閉器	松下電工 スキリポール組合 (ポール引込開閉器 開閉器 (含む) XD6403W相当品)
	壁埋込配管配線	
	天井内こうがい配線	
	床埋込配管配線	
	露出配線ステップルとめ	
	地中埋設配管配線	
E3	接地極 オ3種	2重結 打込式

L-1 分電盤結線図 (屋内壁掛露出型)

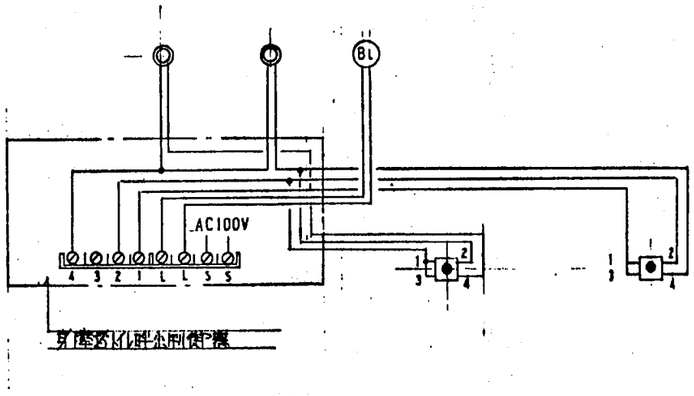


凡例

TS 1周間タイマー (松下電工 TB163相当品)

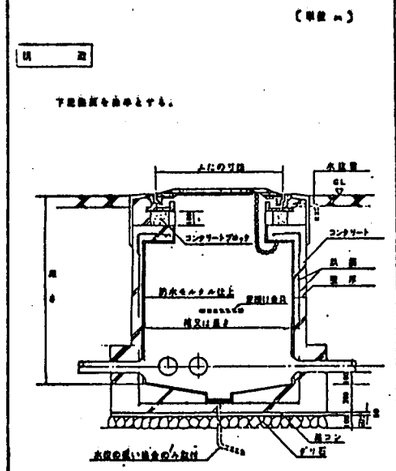
MCB 2P50AF20AT

身障者トイレ呼出装置結線図



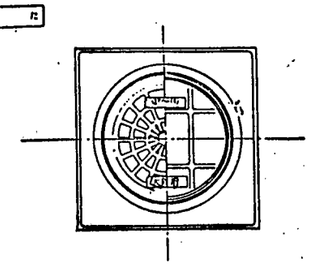
ハンドホール (1)

(単位 mm)



ハンドホール (2)

ふた



(1) 許容ない限り排水は自然で中間点とする。
【荷重重量は中間点は5000kg、最終点は20000kg以上とする】

(2) ふたは文字入りとする。(鋳鉄製込み)

- 電力 (低圧) 電力
- 通信 通信
- 電話 電話
- 電力 (高圧) 電力
- その他会社 大阪府
- 電話 電話

施工方法

(1) 充分な広さ 深さに掘削する。

(2) 荒ぐり石又は玉石を一部据うし、並つぶし砂利を充てんし突き固めエ.ドンを打つ。

(3) 底の部分の底版をレンタリートを打つ。

(4) 内面に型枠をたて起立し、外面に型枠をたててコンクリートを打つ。

(5) 両上(3)(4)を同時に施工することができる。

(6) ふた取付はコンクリートブロック等でかしと同時しコンクリートを打つ。

(7) 最終の内外面を防水モルタル仕上げとする。(仕上げの厚みは20mm以上)

(8) ハンドホールの内貫き出し管はベルマウス管(HIVE)とする。

(9) ハンドホール内へのパイプの出口は内側面に90°に貫通すること。

(10) ハンドホール内に仕水(60角以上の仕水)又は根ビ材を設ける。

ハンドホールの寸法表

(単位 mm)

記号	幅	長さ	深さ	壁厚	配筋	ふたの寸法	蓋受け金具
A形	450	450	500	100	—	350	—
B〃	600	600	500	100	9φ 間隔300	450	—

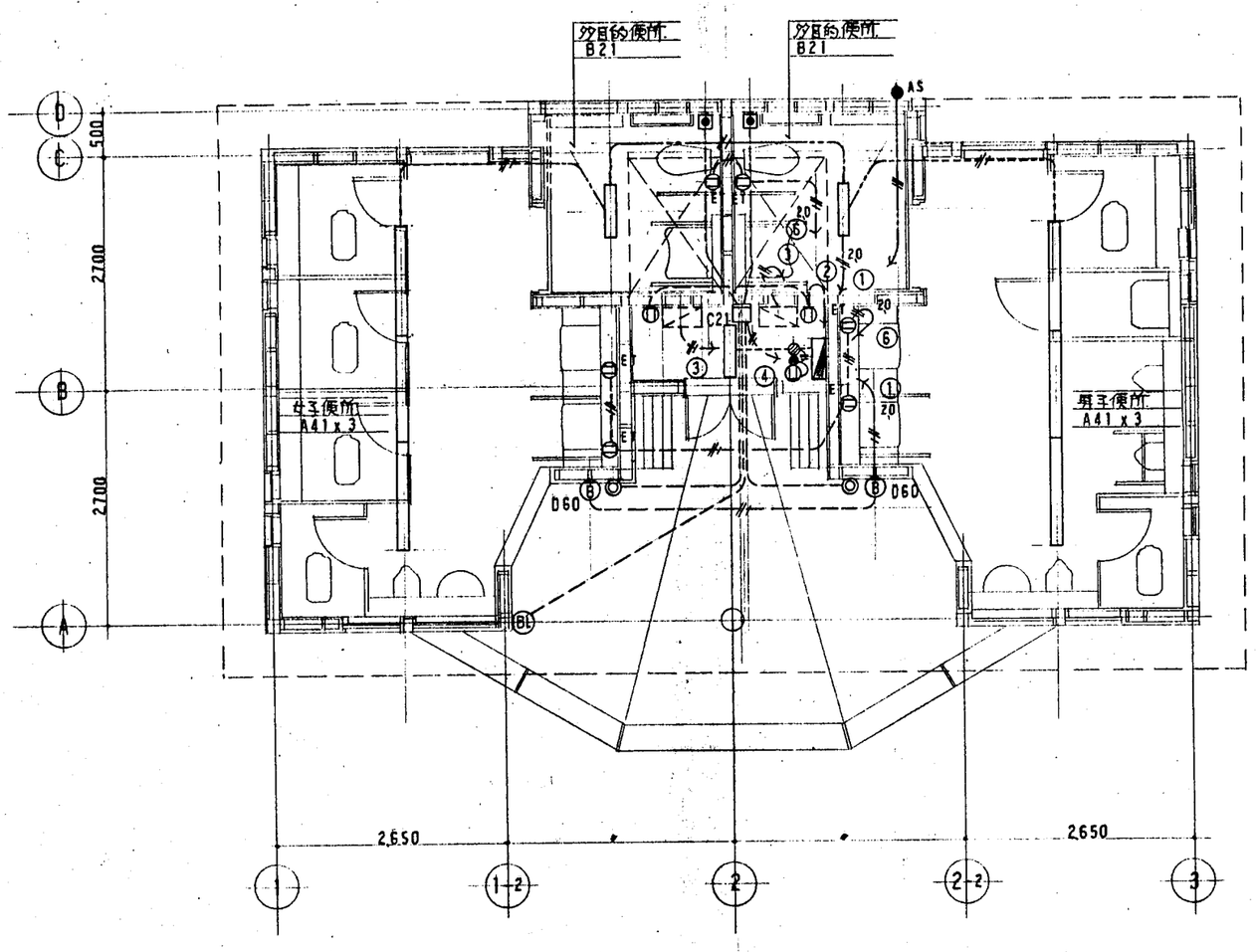
材料の指定

(1) コンクリート レディミクストコンクリート JIS A5308甲 呼び強度 18N/mm² 以上、スランプ 18cm 以下。

(2) 鉄筋 丸鋼(表面処理品フック付、定尺長さ及び重ね継手の長さ(フックは含まず)は公称直径の35倍とする。

(3) 鋼材 鋼材

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ団地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 E-3
							図面名称 凡例、分電盤結線図、ハンドホール詳細図	整理番号 — —		



1) 配管(ころ配管)配線は下記の通り

20	VV-F 2.0-2C	
20	〃	(PF16)
20	2.0-3C	
20	〃	(PF16)
	1.6-2C	
	〃	(PF16)
	1.6-3C	
	〃	(PF16)

CVV-S 1.25-3C(PF16)

CVV-S 1.25-2C(PF16)

2) エレベーター内は電線管(PF16)で保護のこと

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者 林			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ団地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 年 月 日	図面番号 E-4
								図面名称 便所平面図 縮尺 1/50	整理番号 —	—	

特記仕様書（衛生設備工事編）

工事名称　なるかわ園地トイレリフレッシュ工事

工事概要

1．工事場所　東大阪市上小阪町 地内

2．工　期　平成　年　月　日より平成 6 年 3 月 25 日まで

3．図面枚数　8 枚

4．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備考
公衆便所	木造	1	48.03	

5．工事項目（●印を付したものを適用する。）

種目	便所棟	便所棟										
●	衛生器具設備	●	一式									
●	給水設備	●	一式									
●	排水設備	●	一式									
○	給湯設備	○		○		○		○		○		○
○	消火設備	○		○		○		○		○		○
○	ガス設備	○		○		○		○		○		○
○	暖房設備	○		○		○		○		○		○
○		○		○		○		○		○		○
○		○		○		○		○		○		○
○		○		○		○		○		○		○

工事仕様

1．共通仕様

(1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修の建設工事共通仕様書、平成元年版（以下「共通仕様書」と言う。）及び機械設備工事標準図、平成元年版（以下「標準図」と言う。

(2) 建築工事、電気工事を含む場合は、建築大臣官房庁営繕部監修の建築工事共通仕様書、平成元年版、電気設備共通仕様書・平成元年版、及び電気設備工事標準図・平成元年版による。

2．特記仕様

(1) ○項目中●印をつけたものを本工事に適用する。但し、※印は●印のない場合に適用する。

(2) 工事項目に電気工事及び建築工事を含む場合は、本工事とする。

(3) 電気工事並び建築工事の施工業者は、大阪府建築部に「入札参加資格審査申請書」を提出し、受理された業者（電気工事、建築工事）より選ぶこと。

3．工事区分

種目		工事項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
工事区分	○	ポンプ用基礎	○	○	○	○	○	
	○	高置水槽・受水槽基礎	○	○	○	○	○	
	○	同上用架台	○	○	○	○	○	
	●	梁・壁・貫通スリーブ用補強	●	○	○	○	○	
	●	梁・壁・貫通ロスリーブ入れ及び六明補修	○	○	●	○	○	
	●	雨水設備	●	○	○	○	○	
	○	汚水会所	○	○	○	○	○	
	○	流しコンロ台	○	○	○	○	○	
	○	流し用排水金物	○	○	○	○	○	

特記事項

簡易水洗設備工事は，ネポン株式会社の責任施工とする。

種目		工事項目	建築	電気	衛生	空調	別途	備考
工事区分	○	浴槽	○	○	○	○	○	
	○	風呂釜	○	○	○	○	○	
	○	小便隅板	○	○	○	○	○	
	●	洗面器用脚	○	○	●	○	○	
	○	ガソリントラップ	○	○	○	○	○	
	○	煙突	○	○	○	○	○	
	●	機器への給排水ガス配管接続工事	○	○	●	○	○	
	○	下水本管への接続（雨水系統）	○	○	○	○	○	
	○	下水本管への接続（汚水系統）	○	○	○	○	○	
	○	消化器避難器具	○	○	○	○	○	
	○	厨房機器	○	○	○	○	○	
	○	同上配管接続工事	○	○	○	○	○	
	○	冷凍機操作盤の二次側電気工事	○	○	○	○	○	
	○	ボイラー操作盤の二次側電気工事	○	○	○	○	○	
	○	同上故障警報用電気工事	○	○	○	○	○	
	○	排水槽・蓄熱槽・マンホール蓋及び取付工事	○	○	○	○	○	
	○	排水槽・排水ピット	○	○	○	○	○	
	○	油槽外部基礎工事	○	○	○	○	○	
	○	ドラフトチャンバー	○	○	○	○	○	
	○	し尿浄化槽外郭	○	○	○	○	○	
	○	同上内部装置（機器配管）	○	○	○	○	○	
	○	吹出口・吸込口下地組及び切込み	○	○	○	○	○	
	○	消火栓箱下地組及び切込み	○	○	○	○	○	
	○	天井改め口	○	○	○	○	○	
	○	床及び流し等の切込み	○	○	○	○	○	
	○	グリーストラップ	○	○	○	○	○	
	○		○	○	○	○	○	
	○		○	○	○	○	○	
	○		○	○	○	○	○	

4．一般共通事項

種目	項目	特記事項
一般共通事項	●機材	機材は、使用機材指定製作所一覧表（平成2年度版）による。（指定以外は別途特記とする。）
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て請負者の負担とする。 引渡しに要する費用は、請負者の負担とする。
	○色彩による表示及び指示	監督員の指示による。
	●埋設管	埋設深度（土被り）：敷地内道路 ／ 一般 ／ 公道 直圧給水 (75)㎝以上 ／ (75)㎝以上 ／ (120)㎝以上 給水 (75)㎝以上 ／ (75)㎝以上 排水 (75)㎝以上 ／ (30)㎝以上 ガス (75)㎝以上 ／ (30)㎝以上 油 (75)㎝以上 ／ (30)㎝以上 標識柱：給水・要（図示）・不要　消火・要（図示）・不要 ガス・要（図示）・不要　排水・要（図示）・不要 油・要（図示）・不要 埋戻し砂：給水・要（図示）・不要　消火・要（図示）・不要 ガス・要（図示）・不要　排水・要（図示）・不要
	○はつり	既存のコンクリート床・壁の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。
	●残土処分	※場外搬出処理　○構内指示場所堆積　○構内散きならし
	○発生材	○引渡しを必要とするものは、下記のものとする。　○廃棄処分するものは、下記のものとする。

4．一般共通事項

種目	項目	特記事項
一般共通事項	○土工事	※屋外排水管の布設につて、根切り深さ2000Hより3000Hまでは木矢板又は簡易鋼矢板、3000Hを越えるものには簡易鋼矢板を使用する。
	○耐震処理	機器・配管等の固定及び支持については［建設設備耐震設計施工指針］（日本建築センター編最新版）による。
	○その他	工事完成時は各系統毎に銘板表示（ヨぐさり）表示のこと。（バルブ含む）
	○工事優先順位	(1) 特記仕様書及び現場説明事項（質疑回答を含む） (2) 図面 (3) 共通仕様書・標準図
	○施工計画書	
	○引渡し及び管理責任	(a) 完成検査に合格したときは、書類を添えて引渡しを行う。尚、工事完成後引渡しまで、請負者において管理上の責任をもつ。 (b) 引渡し物品一式を、監督員に指示により所定の場所に管理し、調書を添えて設備管理者に引渡す。
	○引渡し物品	注，監督員の指示に従い下記の物品を添えること。 ○ ホンテン（大1本・中1本）　1組 ○ 屋外消火栓キー　1本 ○ 制御弁のキー　1本 ○ 止水栓のキー　1本 ○ マンホール開孔用フッカー　2組 ○ 槽栓ロハンドル　1本 ○ ポンプ整備工具及び工具箱 オイル使用の場合オイル1ℓ・工具スパナ3本 ドライバー⊕⊖各1本・モンキー1本 ハンマー1本・袖捲1個・プライヤー1本 アンギラー1本　1式 ○ 機器付属工具及び予備品　1式 ○ 20kg入り（5㎏）　2缶 ○ 残留塩素測定器　1式 ○ 鍵（各種）　各種3個
	●記録	完成後外部から見えない主要な部分及び各工事の施工段階の工事写真（カラー写真サービスサイズ以上）を提出する。
	●完成図書その他	(a) 記載上の注意 (イ) すべての設計変更及び現場変更後ろの状態を明確に記載する。 (ロ) 地中埋管路等の位置・深さなどは、基準となる位置からの寸法を正確に記載する。 (b) 完成図書は下表のとおりにする。 完成図：左折二つ折　各2　陽画複写紙（白写真） 取扱説明書：左折　2 試験成績書：左折　2 (c) 完成原図は監督員に提出する。完成原図の仕様はトレーシングペーパー（和紙）に鉛筆書きとし文字，寸法，縮尺，図示記号などは，設計図書に準じ記載する。なお、完成原図は設計図書をトレーシングペーパー（和紙）に焼付修したものに代えることができる。
	○監督員事務所	○別途工事　○本工事　種別　号

5．工事種目別仕様

種目	項目	特記事項
衛生器具設備	○小便器自動洗浄管	※露出型　○壁埋込型　（○黄銅　○HI管）
	○洗浄弁	大便器用洗浄弁はバキュームブレーカー付とする。
	●立水栓	※洗面器の水栓は　※立水栓　○回転形立水栓　●自閉式
	○水石ケン入れ	※横形　●立形

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会

工事名称	設計番号	設計年月日	図面番号
なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	—	平成5年　月　日	M－1
図面名称：衛生設備工事　特記仕様書（1）　縮尺 —	整理番号 — —		

種目	項目	特記事項
給水設備	●給水方式	●水道直結式　○高置水槽式　○圧送
	量水器	親メーター（※貸与品　○買取り） 子メーター（○貸与品　※買取り）
	○量水器桝	水道事業者指定品（○貸与　○買取り）　○府型
	●弁類	水道直結部分　JIS（○5kgf/cm²　※10kgf/cm²） その他の部分　JIS（※5kgf/cm²　○10kgf/cm²） ※揚水ポンプチャッキは、衝撃吸収式とする。
	●保温	※共通仕様書による。但し、下記の部分のみ本仕様書による。 ○ピット内不要。但し、鋼管は塗装。 ○屋外露出で、保温被覆を必要としないゴム製可とう継手は、ステンレス鋼板でカバーすること。
	●保温材料	※グラスウール　●ポリスチレンフォーム
排水設備	●排水方式	汚水と雑排水　屋内　※分流式　○合流式 屋外　○分流式　※合流式
	●放流先 (1) 汚水 (2) 雑排水	 ○直放流下水管　○し尿浄化槽　○別途桝（建築工事） ○直放流下水管　○し尿浄化槽　○別途桝（建築工事）　●排水溝
	○保温	※共通仕様書による。但し、下記の部分のみ本仕様書による。 ○ピット内不要。但し、鋼管は塗装。 ○屋外露出で、保温被覆を必要としないゴム製可とう継手は、ステンレス鋼板でカバーすること。
	○保温材料	※グラスウール　○ポリスチレンフォーム
給湯設備	○給湯方式	○中央式　○局所式
	○絶縁継手	※取り付ける（○銅とステンレス　○銅と銅）　○取り付けない
	○弁類	JIS（※5kgf/cm²　○10kgf/cm²）
	○ガス湯沸器	※使用ガス（○都市ガス　○液化石油ガス）
	○煙突その他	○給湯用簡易ボイラー煙突（○本工事　※別途）とする。 ○給湯用簡易ボイラー煙道（○本工事　※別途）とする。 ○鋼板製（○3.2mm　○　mm）厚 ○ステンレス製（3.0mm）厚 ○ガス湯沸器排気筒（※本工事　○別途）とする。 排気筒は厚さ0.3mm以上のステンレス鋼板製とする。
	○保温	※共通仕様書による。但し、下記の部分のみ本仕様書による。 ○給湯埋設管（コンクリート及び土）は、断熱被覆鋼管とする。 （保温厚さ9mm以上） ○排気筒の保温は下記による。 ※天井いんぺい部箇所の保温は共通仕様書h・（イ）・Vとする。 ※屋内露出部箇所の保温は共通仕様書g3・（イ）・Vとする。
	○保温材料	※ロックウール　○グラスウール
消火設備	○消火設備の種類	○屋内消火栓　○スプリンクラー　○ハロゲン化物消火 ○泡消火　○粉末消火　○屋外消火栓 ○連結送水管　○連結散水設備　○
	○屋内消火栓箱	○1号消火栓（○露出　○埋込） ○2号消火栓（○露出　○埋込）
	○消火ポンプ	○制御盤　※付属　○別途電気工事 ○呼水タンク　※要　○不要
	○消火栓弁	○減圧機構付消火栓弁　※要（　階以下）
	○保温	※共通仕様書による。但し、下記の部分のみ本仕様による。 ○呼水槽の保温（※不要　○要） ○充水槽の保温（※不要　○要） ○消火栓の保温（屋外要）　83・（ロ）・1

種目	項目	特記事項
ガス設備	○種類	○都市ガス（発熱量　Kcal/m³ 供給事業者名　大阪ガス（株）） ○液化石油ガス（発熱量　Kcal/m³）
	○ボンベ	別途（○10kg　○20kg　○50kg） 転倒防止用鎖（○本工事　○別途）
	○メーター	※貸与品　○買取り
共通事項	○管種	区分／種別

種別	給水	雑排水	汚水	通気	給湯	消火	油	会所間			備考
水道用亜鉛メッキ鋼管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
配管用炭素鋼鋼管（白）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
配管用炭素鋼鋼管（黒）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
圧力配管用炭素鋼鋼管 スケジュール40（白管2種）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VLP）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○直管スラブ　○直管壁　図示
水道用ダクタイル鋳鉄管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	JWWA G113（3層）モルタルライニング
水道用ダクタイル鋳鉄異形管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	粉体塗装
排水用鋳鉄管（メカニカル形）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
排水用鋳鉄管（JIS G5525）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	複合はゴム輪による
排水及び洗浄用鉛管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
リン酸塩鋼線用鋼管（Mタイプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耐熱硬質塩化ビニル管（リン酸塩鋼線用鋼管　Lタイプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
硬質塩化ビニル管（VP）	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HTLP）	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遠心力鉄筋コンクリート管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B型
耐熱硬質ライニング鋼管（HTLP）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	80A以上
耐熱硬質コーティング管（NTCPXはナイロンコーティング管）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100A以上
配管用ステンレス製鋼管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	図示　SUS-304　SCN-40S
硬質塩化ビニル異形管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（G）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ポリエチレンライニング鋼管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SGP-VD
水道用ポリエチレン管（PP）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（DVLP）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	図示
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

1．ライニング鋼管（VLP・HTLP・HTCP）の100A以上はフランジ接合とし、工場加工の溶接フランジとする。
ねじ込み継手はコアー内蔵型とする。
80A以上でフランジ接合を必要とする場合は、ねじ込みフランジ接合部分にコアーを挿入すること。

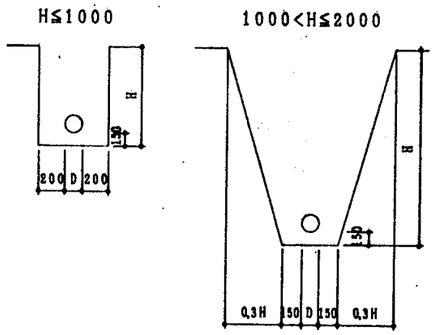
種目	項目	特記事項
共通事項	○機器の保温	※共通仕様書による。但し、下記の部分のみ本仕様による。
	○機器の保温材	鋼板製のタンク　○ロックウール　○グラスウール 貯湯タンク　○ロックウール　○グラスウール
	○弁類	給水設備用弁類については下記による。 ○65以上の鋳鉄製弁は、ライニング弁とする。 ○50以下はコアー内蔵形の弁とする。
	○防振継手	※共通仕様書による。
	○可とう継手の長さ	※合成ゴム製は下記による。（フランジ間寸法）

管径（mm）	40以下	50～80	100以下
全長（mm）	300	500	700

※ベローズ形（ステンレス製）は下記による。（フランジ寸法）
但し油管に使用する場合は、共通仕様書による。

管径（mm）	25以下	32～50	65～150	200以上
全長（mm）	300	500	800	1000

種目	項目	特記事項
共通事項	○機械の基礎	基礎の施工要領及び記号は、標準図による。 ○ポンプ　○防振基礎　○標準基礎
	●管路断面図	



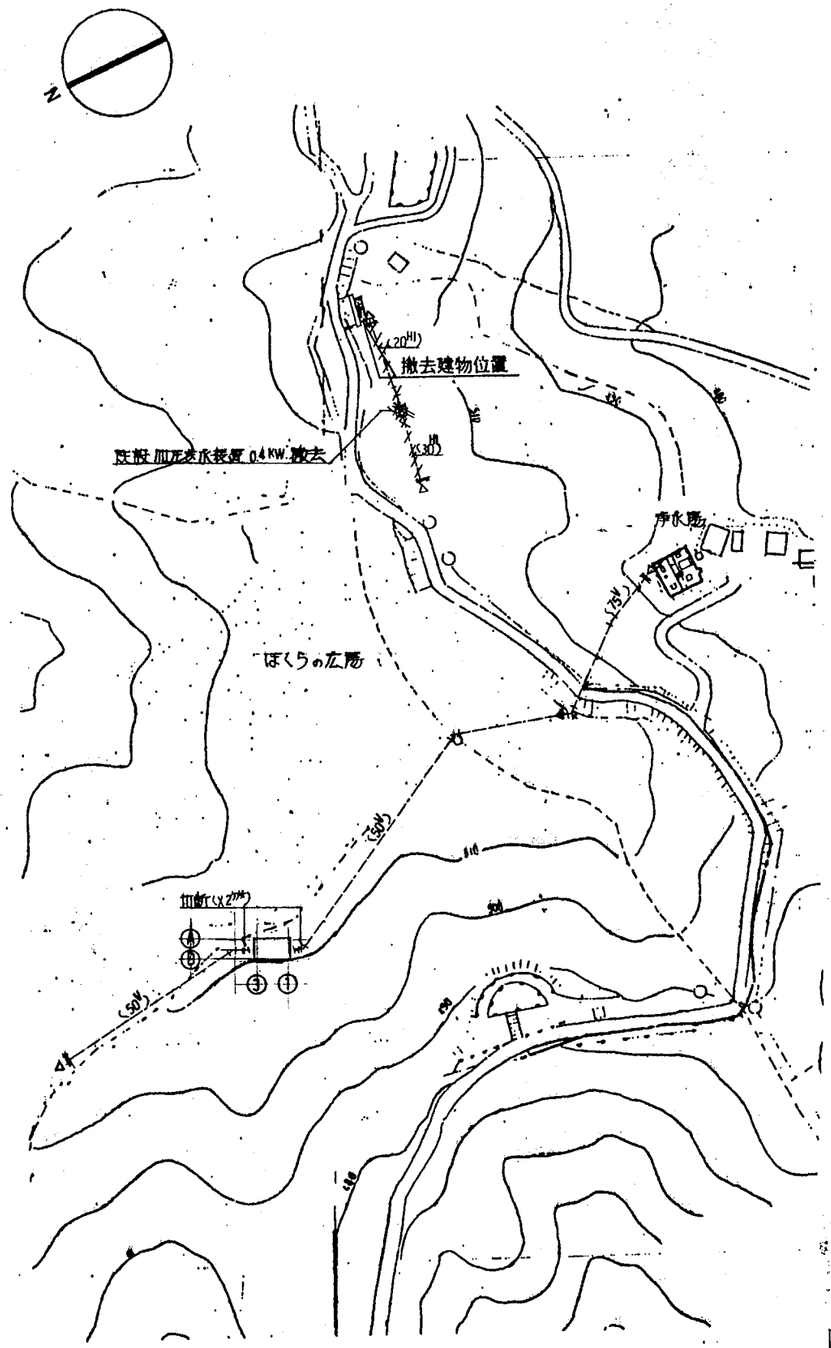
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
—G—	ガス管	—Ⓖ— 空調用		仕切弁	
—X—	消火管	屋内消火栓		逆止弁	
—S—	消火管	スプリンクラー	—Ⓢ—	ストレーナー	Y形
—O—	油管		—Ⓟ—	P号ボールタップ	パイロットBT付
---OV---	油通気管			防振継手	
—K—	膨張管			可とう継手	FLJ（SUS）SUS304
—·—·—	給水管			可とう継手	FLJ（ゴム）ゴム製
——	排水管			一口ガスコック	
—C—	汚水管			ベアコック	
- - - -	通気管			ボックスコック	
—I—	給湯管	往			
—II—	給湯管	還			
	給水栓				
	給湯栓				
	フラッシュ弁				
	散水栓				
⊗	流し排水金物				
	床排水金物				
	床上掃除口				

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者	林	黒		担当	財団法人　大阪府建設監理協会	

工事名称	なるかわ墓地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成5年　月　日
図面名称	衛生設備工事　縮尺 —	整理番号 — —	図面番号 M－2
	特記仕様書（2）		



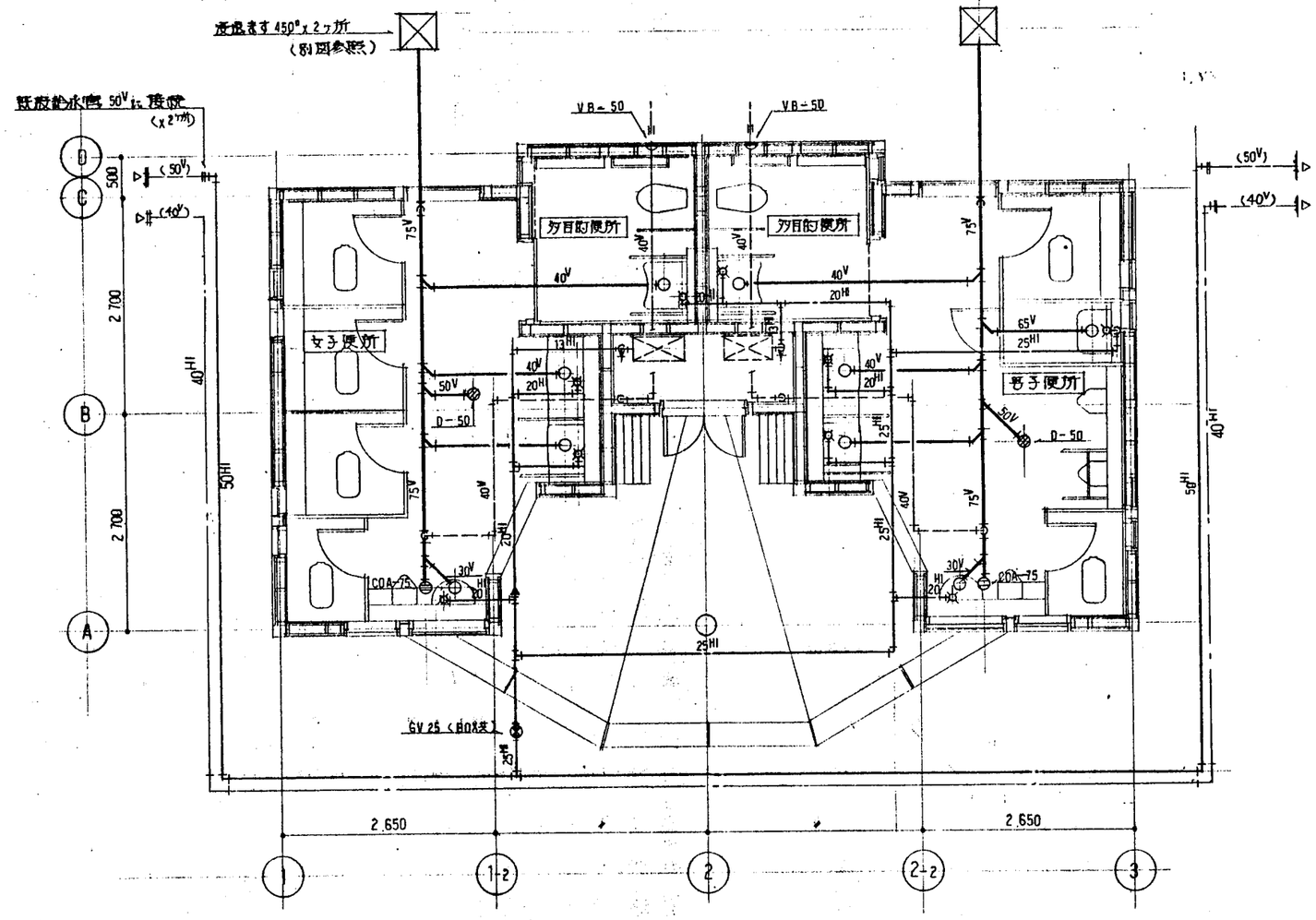
凡例		
記号	名称	備考
———	新設給水管	
———	〃 排水管	
- - - -	〃 通気管	
(_)———	既設配管	
—}—}—	放棄配管	
—⊗—	仕切弁(BOX共)	
—Ⓘ—	床上掃除口	
—⊘—	床排水トラップ	
—Ⓓ—	ベントキャップ	埋込型 VP製

建物位置図 1:1500

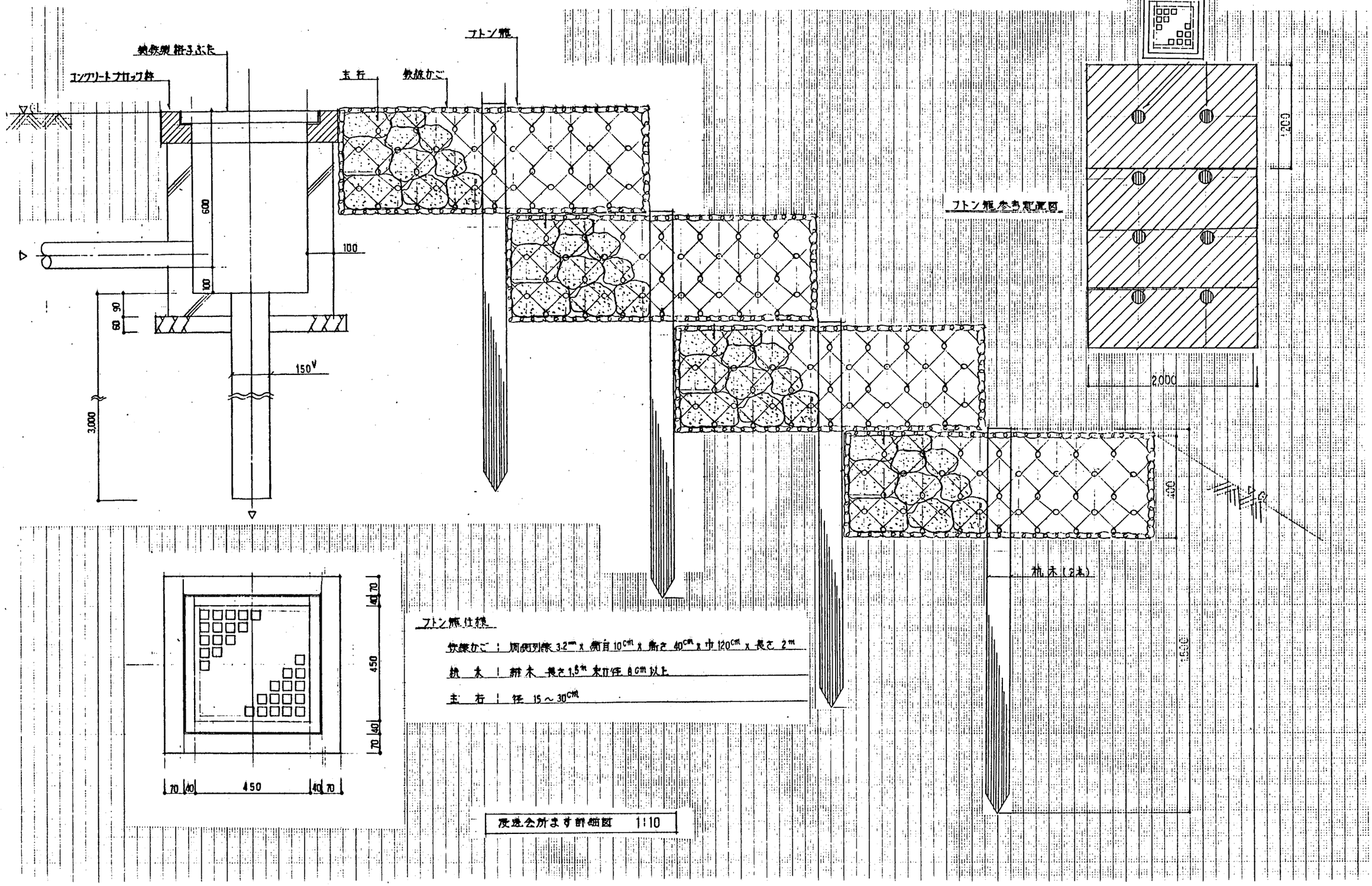
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ[illegible]地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 5 年 月 日	図面番号 M－3
								図面名称 衛生設備工事 建物位置図	縮尺 1:1500	整理番号 — —	

女子便所			
名称	品番	付属品	数量
洗面器	L-331RA	T705, T4A, T7PLR	2
身障者用洗面器	L-103D	T705, T4A TL103BG TL220D	1
子洗器	L-34	T709, T4A T22P TA2S (x2)	1
化粧鏡	TS119FE3		2
腰掛鏡	LM530		1
排水目皿	D-50		1
床上掃除口	COA-75		1
凍結防止器		(松下電工 DR2211 相当品)	3

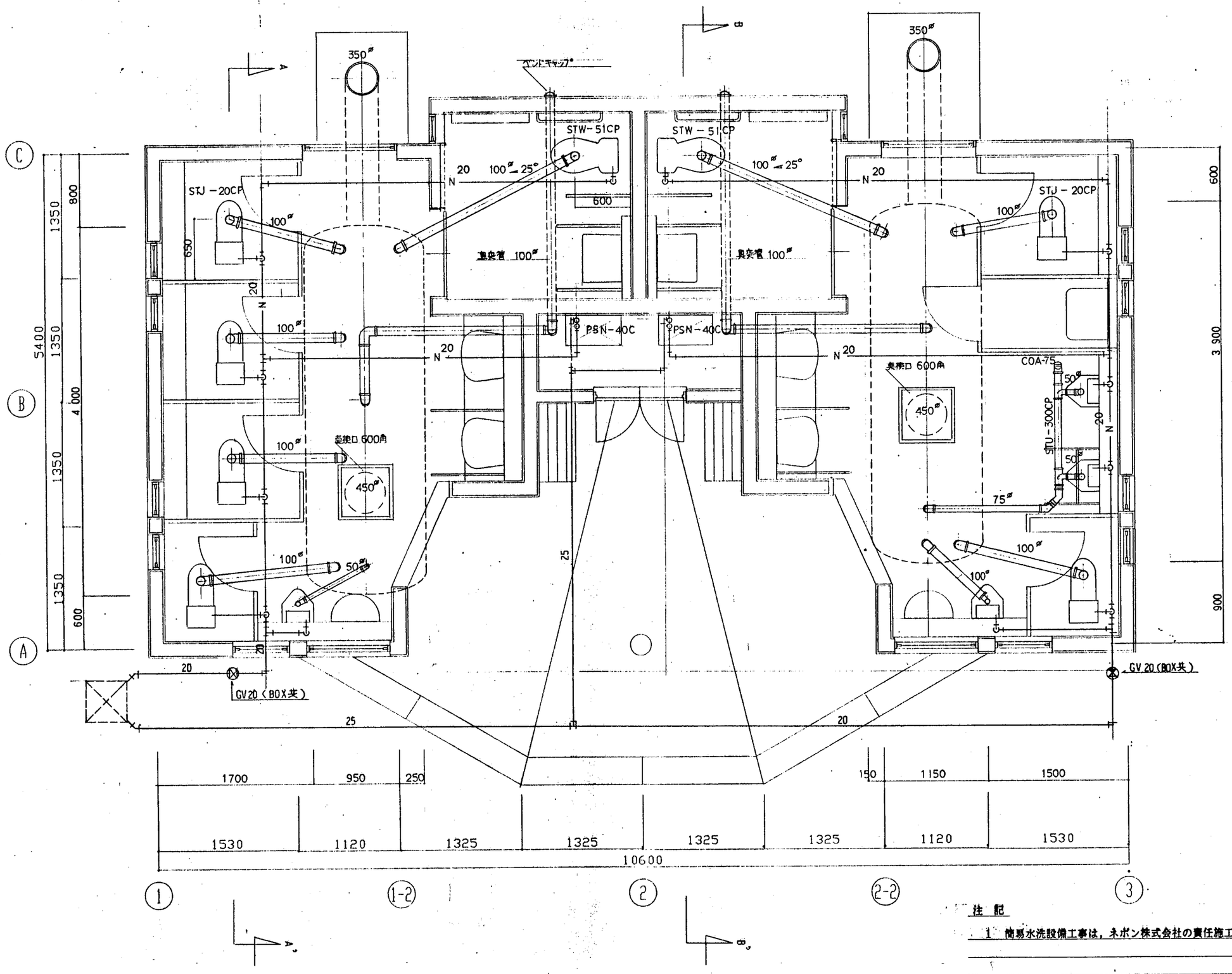
男子便所			
名称	品番	付属品	数量
洗面器	L-331RA	T705 T4A T7PLR	2
身障者用洗面器	L-103D	T705 T4A TL103BG TL220D	1
子洗器	L-34	T705, T4A T22P TA2S (x2)	1
掃除流し	SK-22A	T23AE20 TK22 T37SN T9R	1
化粧鏡	TS119FE3		2
腰掛鏡	LM530		1
排水目皿	D-50		1
床上掃除口	COA-75		1
凍結防止器		(松下電工 DR2211 相当品)	3



事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	作成者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ緑地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 5 年 月 日	図面番号 M-4
								図面名称 衛生設備工事 便所平面詳細図	縮尺 1:50	整理番号 — —	



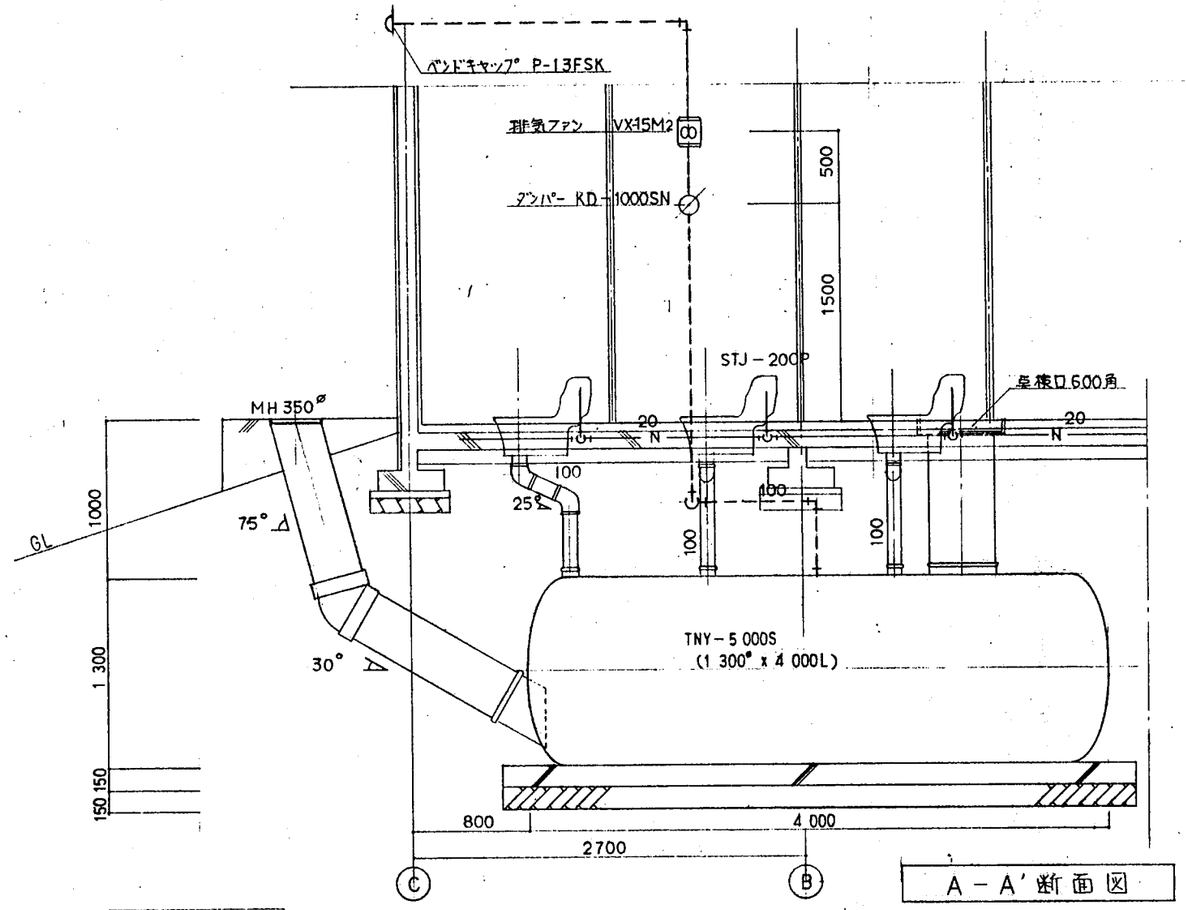
事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代理者			担当		担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 5 年 月 日	図面番号 M－5
								図面名称 衛生設備工事 縮尺 1:10 浸透会所ます詳細図	整理番号 — —		



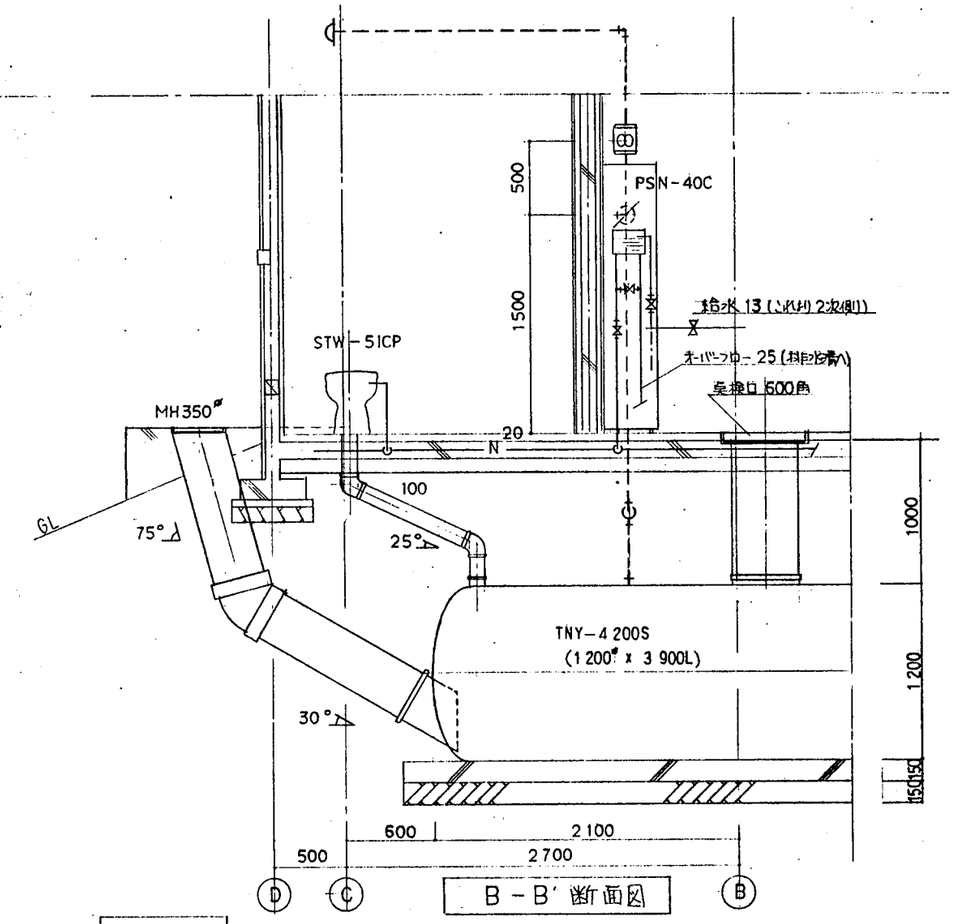
注記

1 簡易水洗設備工事は，ネポン株式会社の責任施工とする。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称 なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号 —	設計年月日 平成 5 年 月 日	図面番号 M－6
				図面名称 簡易水洗設備工事 配管平面図 縮尺 1：30	整理番号 — —		



A－A′断面図



B－B′断面図

器具リスト

	品名	形式	数	備考
1	和風大便器	STJ-20CP	6	ネポン
2	洋風大便器	STW-51CP	2	〃
3	小便器	STU-300CP	4	〃
4	ネポール供給装置	PSN-40C	2	〃
5	紙巻器	PSK-100	8	〃
6	便槽(男子便所)	TNY-4200S	1	1200φ x 3900L
7	便槽(女子便所)	TNY-5000S	1	1300φ x 4000L
8	排気ファン	VX-15M2	2	三菱相当品
9	ベンドキャップ	P-13FSK	2	〃
10	ダンパー	KD-1000SN	2	ネポン

凡例

	記号	名称	備考
1	N 20 25	ネポール供給管	HIVP 20.25
2	50 75 100	排尿、臭突管	VP 50.75.100
3	100	排便管	VU 100
4		壁隠ぺい配管	PF 16
5		床コンクリート埋設	PF 16
6		電線	1.2 x 5
7		電線	1.2 x 6

注記

1 簡易水洗設備工事は、ネポン株式会社の責任施工とする。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業
事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所

代表者 林 担当

財団法人 大阪府建設監理協会

工事名称：なるかわ園地トイレリフレッシュ工事

図面名称：簡易水洗設備工事 便所断面図

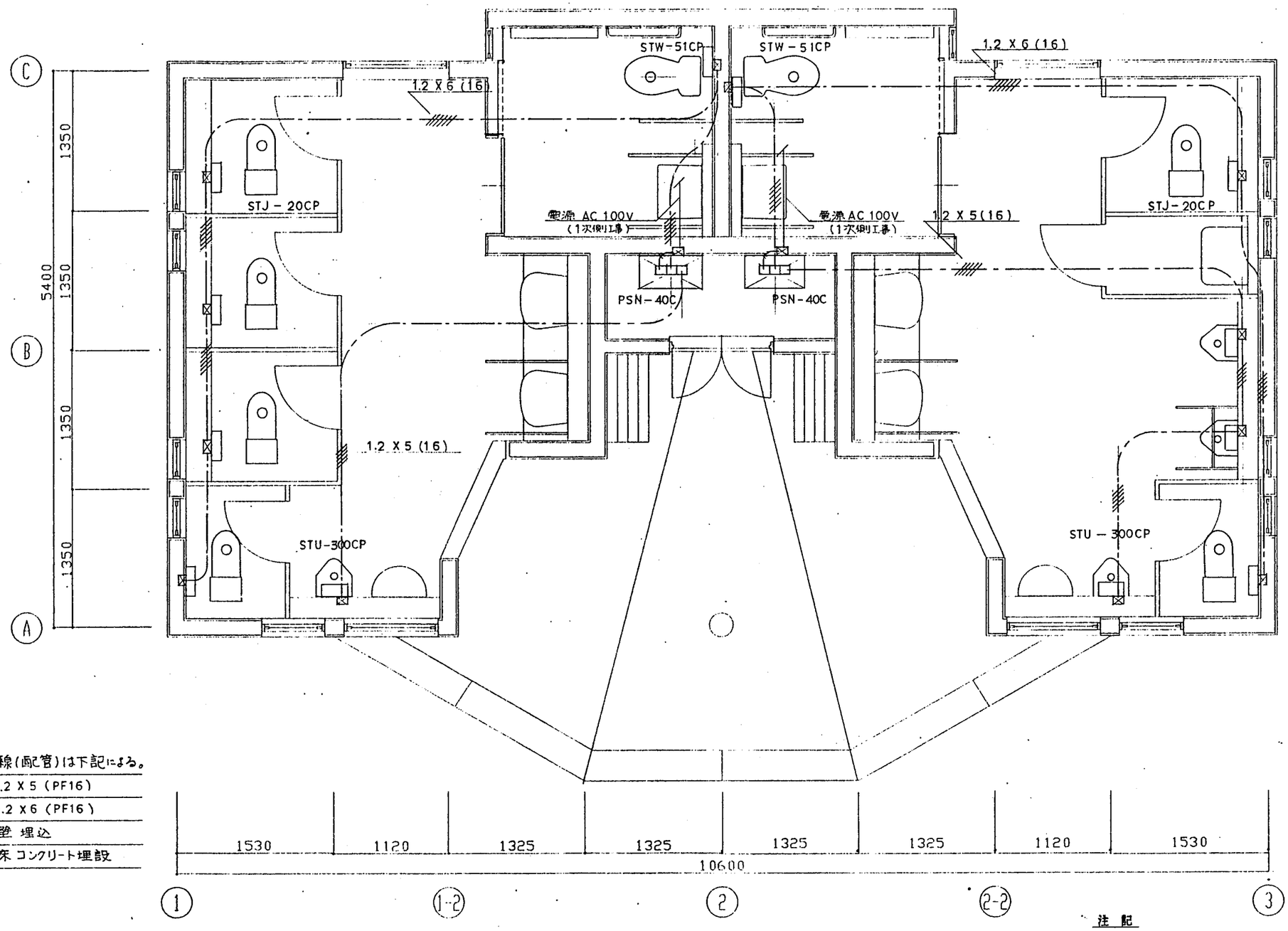
縮尺 1:30

設計番号 —

設計年月日 平成 5 年 8 月 26 日

整理番号 —

図面番号 M－7



(注)。記入なき配線(配管)は下記による。

//////	1.2 X 5 (PF16)
//////	1.2 X 6 (PF16)
————	壁 埋込
— — —	床 コンクリート埋設

注記

1 簡易水洗設備工事は，ネポン株式会社の責任施工とする。

事業名：平成5年度トイレリフレッシュ事業 事業所名：大阪府東大阪自然保護事務所	代表者	林	担当	担当	財団法人 大阪府建設監理協会	工事名称	なるかわ園地トイレリフレッシュ工事	設計番号	—	設計年月日 平成 5 年 月 日	図面番号
						図面名称	簡易水洗設備工事 電気配線図	縮尺 1:30	整理番号 — —		M－8